

第14回出生動向基本調査

結婚と出産に関する全国調査

— 独身者調査の結果概要 —

金子隆一・岩澤美帆・釜野さおり・石井太・佐々井司・
三田房美・守泉理恵・鎌田健司

調査の概要

(1) 調査の目的と沿革

国立社会保障・人口問題研究所は2010(平成22)年6月、第14回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)を実施した。この調査は他の公的統計では把握することのできない結婚ならびに夫婦の出生力に関する実状と背景を定時的に調査・計量し、関連諸施策ならびに将来人口推計をはじめとする人口動向把握に必要な基礎資料を得ることを目的としている。本調査は、戦前の1940(昭和15)年に第1回調査、ついで戦後の1952(昭和27)年に第2回調査が行われて以降、5年ごとに「出産力調査」の名称で実施されてきたが、第10回調査(1992年)以降名称を「出生動向基本調査」に変更して今回に至っている。第8回調査(1982年)からは夫婦を対象とする夫婦調査に加えて、独身者を対象とする独身者調査を同時実施している。本概要報告は、この第14回調査の独身者調査についてのものである。

(2) 調査手続きと調査票回収状況

表1 調査票配布数、有効回収数ならびに率

調査票の回収状況	
調査客体数	14,248
回収票数	11,487 (回収率 80.6%)
有効票数	10,581 (有効回収率 74.3%)

本調査は、全国の年齢18歳以上50歳未満の独身者を対象とした全国標本調査であり、平成22年6月1日現在の事実について調べたものである。調査対象地区は、平成22年「国民生活基礎調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部実施)の調査地区5,510カ所(平成17年国勢調査区から層化無作為抽出)の中から選ばれた840地区である。この地区内の全ての世帯に居住する18歳以上50歳未満のすべての独身者が本調査の客体となる。

調査方法は配票自計、密封回収方式によった。その結果、調査票配布数(調査客体数)14,248票に対して、回収数は11,487票であり、回収率は80.6%であった(前回調査79.3%)。ただし、回収票のうち記入状況の悪い906票は無効票として集計対象から除外した。したがって、有効票数は10,581票であり、有効回収率は74.3%である(同70.0%)。なお、本報告では18歳以上35歳未満の未婚男女を中心に集計分析を行った。

表2 男女年齢別未婚者数

年 齢	第14回調査未婚者数		(参考) 第13回調査未婚者数	
	男 性	女 性	男 性	女 性
総 数	5,040 (100.0%)	4,276 (100.0%)	4,002 (100.0%)	3,583 (100.0%)
18~34歳小計	3,667 (72.8%)	3,406 (79.7%)	3,139 (78.4%)	3,064 (85.5%)
18~19歳	435 (8.6%)	530 (12.4%)	422 (10.5%)	541 (15.1%)
20~24歳	1,359 (27.0%)	1,371 (32.1%)	1,025 (25.6%)	1,187 (33.1%)
25~29歳	1,076 (21.3%)	895 (20.9%)	1,025 (25.6%)	834 (23.3%)
30~34歳	797 (15.8%)	610 (14.3%)	667 (16.7%)	502 (14.0%)
35~39歳	613 (12.2%)	427 (10.0%)	412 (10.3%)	255 (7.1%)
40~44歳	479 (9.5%)	270 (6.3%)	270 (6.7%)	161 (4.5%)
45~49歳	281 (5.6%)	173 (4.0%)	181 (4.5%)	103 (2.9%)

1. 結婚という選択 —若者たちの結婚離れを探る—

(1) 結婚の意欲

結婚する意思をもつ未婚者は9割弱で推移

いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、いぜんとして高い水準にある(男性 86.3%、女性 89.4%)。しかし「一生結婚するつもりはない」とする未婚者はわずかに増え、男性 9.4%、女性 6.8%となった。態度不詳が減り、独身志向を表す未婚者が増えた形となっている。

表 1-1 調査別にみた、未婚者の生涯の結婚意思

生涯の結婚意思		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
【男 性】	いずれ結婚するつもり	91.8%	90.0	85.9	87.0	87.0	86.3
	一生結婚するつもりはない	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1	9.4
	不詳	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9	4.3
	総数(18~34歳) (集計客数)	100.0% (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)
【女 性】	いずれ結婚するつもり	92.9%	90.2	89.1	88.3	90.0	89.4
	一生結婚するつもりはない	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6	6.8
	不詳	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3	3.8
	総数(18~34歳) (集計客数)	100.0% (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)

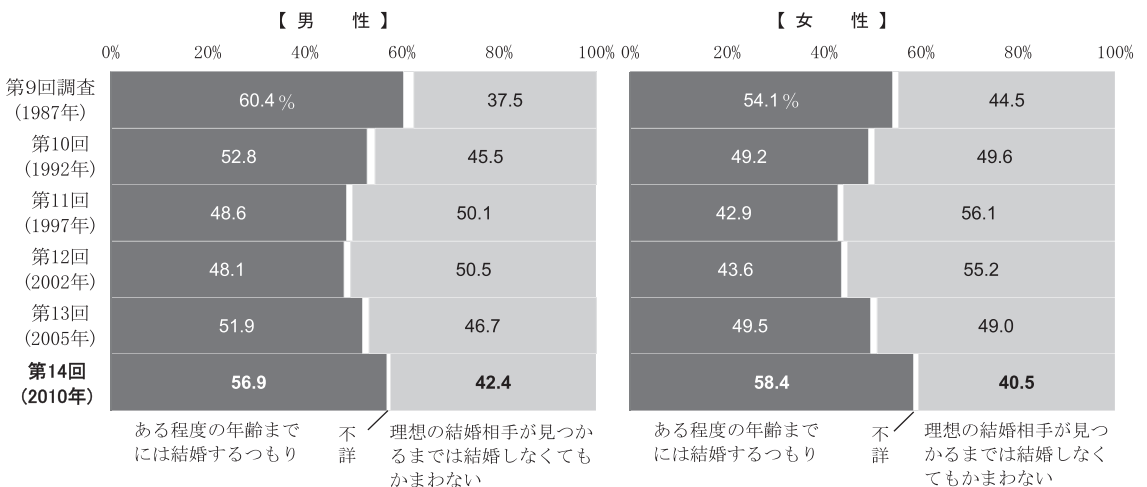
注：対象は18~34歳未婚者。年齢別の詳細な数値は付表1(巻末)参照。

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」(1.いずれ結婚するつもり、2.一生結婚するつもりはない)。

結婚年齢にこだわる未婚者が過半数を回復

結婚する意思のある未婚男女のうち、ある程度の年齢までに結婚しようとする人は1990年代を通して減少し、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考える割合を一旦下回ったが、2000年代に入ると傾向が反転し、今回調査では男女ともに過半数を回復している。

図 1-1 調査別にみた、結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。詳細な数値は付表2(巻末)参照。

設問「同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」(1.ある程度の年齢までには結婚するつもり、2.理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない)。

結婚に対する先延ばし意識が薄らぐ

一年以内に結婚する意欲のある未婚者の割合*は、1990年代において男女とも20歳代後半を中心に減少した後、2000年代ではしだいに下げ止まりの傾向を見せていたが、今回調査ではわずかながら増加した。また「まだ結婚するつもりはない」とする未婚者の割合も微減しており、結婚を先延ばししようとする意識は薄らいでいる。

※ 一年以内に結婚する意欲のある未婚者の割合とは、「一年以内に結婚したい」「理想的な相手が見つければ(一年以内に)結婚してもよい」と回答した未婚者を合わせた割合である。

表1-2 調査・年齢別にみた、一年以内の結婚意思

一年以内の結婚意思 年 齢	【 男 性 】						【 女 性 】					
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
一年以内の結婚意思あり												
総数(18~34歳)	40.8 %	38.7	42.0	42.2	42.1	43.3	49.0 %	47.8	51.1	52.6	50.1	53.2
18 ~ 24 歳	22.5	22.3	27.6	28.0	23.5	26.0	39.3	36.2	39.5	37.0	32.7	35.1
25 ~ 29 歳	66.8	59.6	55.8	53.2	51.6	53.5	82.0	78.6	71.3	69.5	69.6	72.0
30 ~ 34 歳	82.7	83.7	76.6	70.8	69.4	70.0	83.5	84.1	80.0	82.5	79.4	84.4
まだ結婚するつもりはない												
総数(18~34歳)	57.3 %	59.3	56.5	55.9	56.0	55.5	49.5 %	50.7	47.7	46.3	48.8	45.6
18 ~ 24 歳	75.8	76.2	70.9	70.4	74.8	73.5	59.4	62.4	59.6	62.0	66.5	63.6
25 ~ 29 歳	31.5	37.5	42.7	45.1	46.3	44.4	16.6	19.7	26.9	29.3	28.9	27.2
30 ~ 34 歳	14.5	12.8	21.5	25.9	28.9	28.6	13.2	14.0	18.4	16.1	19.4	13.9
(集計客体数)	(3,027)	(3,795)	(3,420)	(3,389)	(2,732)	(3,164)	(2,420)	(3,291)	(3,218)	(3,085)	(2,759)	(3,044)

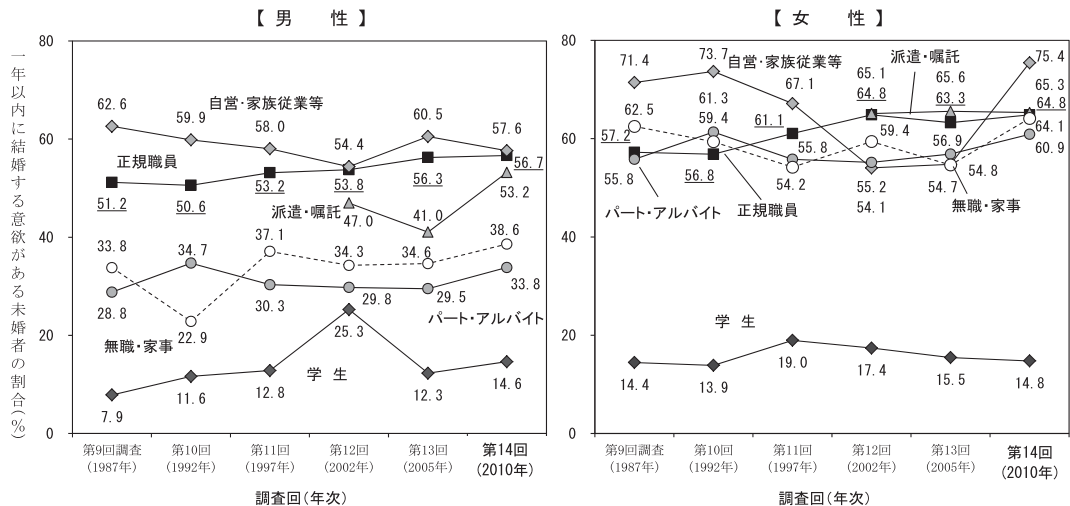
注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳未婚者。詳細な数値は付表3(巻末)参照。

設問「それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。」(1.一年以内に結婚したい、2.理想的な相手が見つければ結婚してもよい、3.まだ結婚するつもりはない)。

就業状況によって異なる男性の結婚意欲

一年以内に結婚する意欲のある未婚者の割合を就業状況別にみると、男性では大きな差が見られ、自営・家族従業等、正規職員で高く、パート・アルバイト、無職・家事などで低い傾向がみられる。女性では学生を除くと、そのような差は見られない。

図1-2 調査・就業の状況別にみた、一年以内に結婚してもよいと考える未婚者割合の推移



注：「いずれ結婚するつもり」と回答した18~34歳の未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した未婚者の割合。派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加(第13回調査以降、契約社員が追加)。就業の状況(従業上の地位)の構成は付表8(巻末)参照。

(2) 結婚の利点・独身の利点

「結婚に利点あり」女性でやや増える、「独身の利点」は男女とも8割台で安定

結婚することに利点があると感じている未婚男性はわずかながら減少する傾向にあり、前回調査でやや増えたが今回再び減少して62.4%となった。女性では7割前後を推移してきたが、前回調査からやや増えており、今回は75.1%となっている。一方、独身生活に利点があると考えている未婚者は男女とも高い割合を維持しており、今回調査では男性は81.0%、女性は87.6%となっている。

表1-3 調査別にみた、未婚者の結婚の利点・独身生活の利点に対する考え

	【男性】						【女性】					
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
今のあなたにとって結婚することは												
利点があると思う	69.1%	66.7	64.6	62.3	65.7	62.4	70.8%	71.4	69.9	69.4	74.0	75.1
利点はないと思う	25.4	29.1	30.3	33.1	28.6	34.3	24.7	25.2	25.5	26.3	21.5	22.0
不詳	5.5	4.2	5.1	4.6	5.7	3.3	4.5	3.4	4.6	4.3	4.5	2.8
総数	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
今のあなたにとって独身生活は												
利点があると思う	83.0%	83.6	82.7	79.8	83.8	81.0	89.7%	89.0	88.5	86.6	87.2	87.6
利点はないと思う	10.7	11.2	11.6	14.6	10.3	15.6	5.4	7.4	7.2	8.6	7.6	9.2
不詳	6.3	5.2	5.7	5.6	5.9	3.4	4.9	3.6	4.3	4.8	5.1	3.2
総数	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(集計客体数)	(3,299)	(4,215)	(3,982)	(3,897)	(3,139)	(3,667)	(2,605)	(3,647)	(3,612)	(3,494)	(3,064)	(3,406)

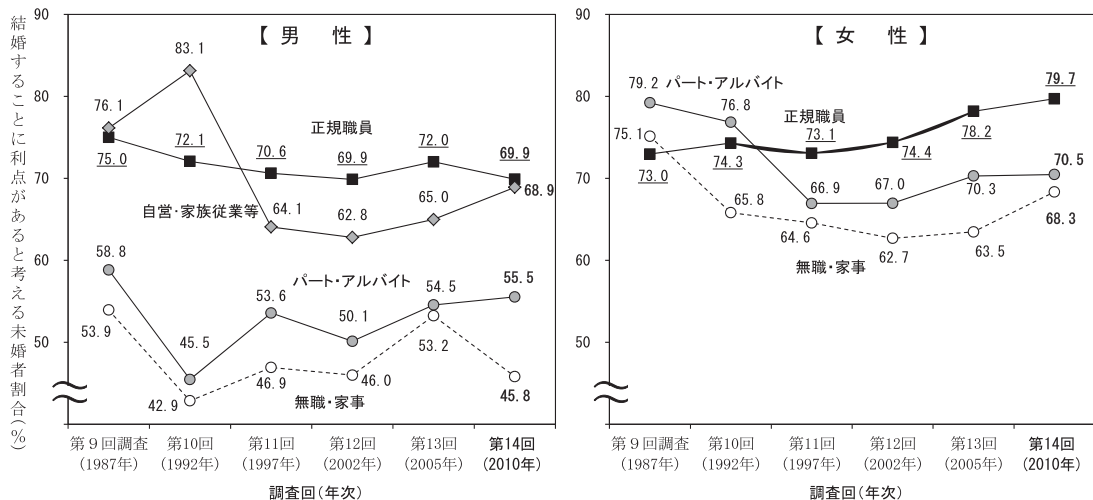
注：対象は18～34歳未婚者。詳細な数値は付表4(巻末)参照

設問「今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。」(1.利点があると思う、2.利点はないと思う)、「それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。」(1.利点があると思う、2.利点はないと思う)。

男性では就業状況で結婚の利点感に差、男女とも正規職員が最も結婚の利点を感じている

結婚の利点の感じ方は就業の状況によって異なる。とりわけ男性ではその違いが大きく、正規職員や自営・家族従業として働いている人では結婚に利点を感じる割合が高い。これに比べてパート・アルバイトや無職・家事の男性では、この利点を感じる割合は大きく下回っている。女性でも近年は同様の違いが見られるが、男性の場合に比べると差は小さい。

図1-3 調査・就業の状況別にみた、「結婚することには利点がある」と考える未婚者割合の推移

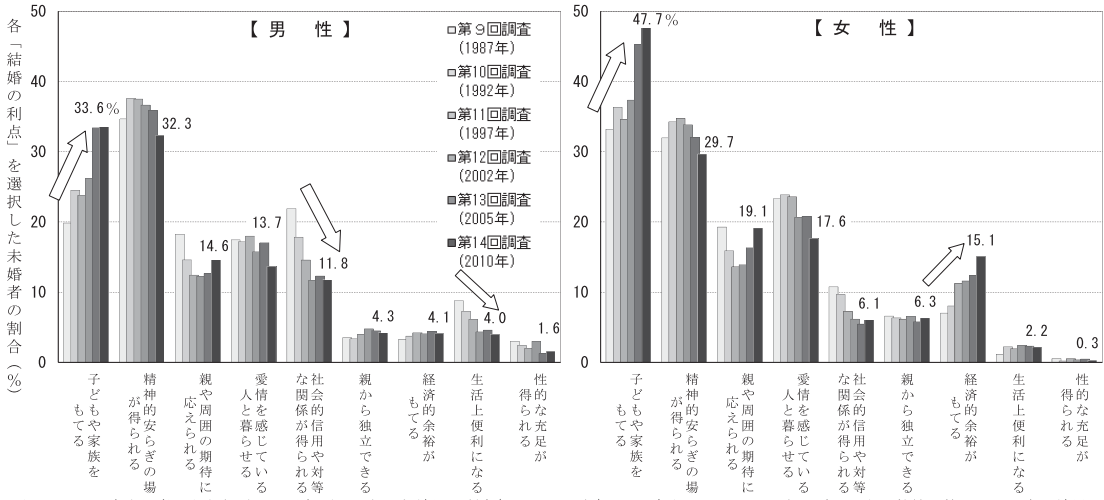


注：対象は18～34歳未婚者。就業の状況「学生」「派遣・嘱託」および女性では「自営・家族従業等」を省略した。就業の状況(従業上の地位)の構成は付表8(巻末)参照。

結婚の利点、「自分の子どもや家族をもてる」が増加傾向、女性では「経済的に余裕がもてる」も増加

結婚することの具体的な利点としては、男女とも「自分の子どもや家族をもてる」を挙げる人が前回調査から顕著に増えており、男性では「精神的な安らぎの場が得られる」を抜いてはじめてトップの項目となった。「親や周囲の期待に応えられる」は、1990年代の減少傾向から一転して増加傾向を示しており、今回男女とも3位の項目となっている。逆に「現在愛情を感じている人と暮らせる」は減少した。「経済的に余裕がもてる」は、女性のみで増加傾向にある。

図1-4 調査別にみた、結婚することの利点

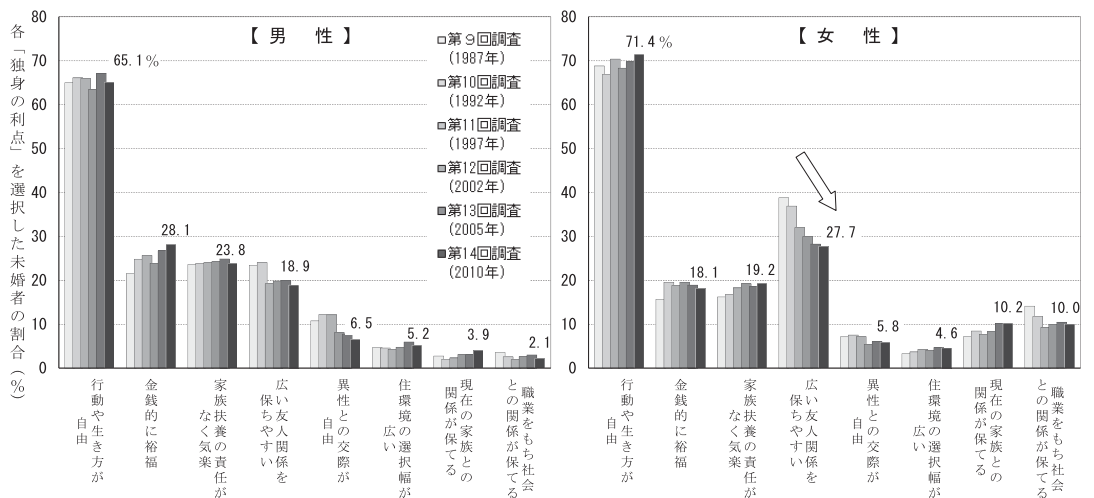


注：18～34歳未婚者のうち何%の人が各項目を主要な結婚の利点(二つまで選択)として考えているかを示す。グラフ上の数値は第14回調査の結果。その他の数値は付表4(巻末)参照。

独身生活の最大の魅力は「行動や生き方が自由」であること

独身生活の利点は、男女ともに「行動や生き方が自由」を挙げる人が圧倒的に多い。それ以外では「金銭的に裕福」「家族扶養の責任がなく気楽」「広い友人関係を保ちやすい」が比較的多い。これらの傾向は調査開始以来ほとんど変わっておらず、結婚すると行動や生き方、金銭、友人関係などが束縛されるという未婚者の感じ方は根強い。ただし女性では、友人関係への束縛感は緩んでいるといえる。

図1-5 調査別にみた、独身生活の利点



注：18～34歳未婚者のうち何%の人が各項目を主要な独身生活の利点(二つまで選択)として考えているかを示す。グラフ上の数値は第14回調査の結果。その他の数値は付表4(巻末)参照。

結婚後、生活リズム・余暇・お金の自由が保てるかが気がかり

結婚することを考えたとき、気になることをたずねた。男女ともに「生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を取れるか」「お金を自由に使えるか」が上位を占めた。これらは、とくに独身生活の利点として「行動や生き方の自由」を意識する未婚者の中で高い割合となっている。女性では「仕事(学業)の時間を取れるか」を心配する未婚者が3割前後いる。

表1-4 年齢別にみた、結婚を考えたとき気になること

性別	年齢	独身生活の利点 (集計 客体数)	自分の生活リズムを保てるか	余暇や遊びの時間を取れるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	職業を自由に選べるか	ファッションや食料などの好みや制約されないか
			割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
【男性】	総数(18~34歳)	(3,667)	48.7%	46.7%	46.1%	20.8%	17.5%	13.8%	12.6%	12.3%
	18~24歳	(1,794)	48.3%	48.3%	45.5%	22.9%	17.8%	14.0%	14.0%	13.4%
	25~34歳	(1,873)	49.1%	45.2%	46.7%	18.8%	17.1%	13.6%	11.2%	11.3%
	(再掲) 「行動や生き方が自由」を 選択 (2,389) 非選択 (1,278)		54.0% 38.9%	52.6% 35.7%	49.7% 39.4%	23.0% 16.7%	18.8% 15.0%	13.6% 14.2%	12.9% 12.0%	12.8% 11.3%
【女性】	総数(18~34歳)	(3,406)	60.5%	51.1%	46.5%	24.9%	31.7%	19.4%	20.6%	24.9%
	18~24歳	(1,901)	58.3%	53.7%	46.0%	25.4%	32.8%	18.6%	22.5%	25.4%
	25~34歳	(1,505)	63.2%	47.7%	47.2%	24.2%	30.4%	20.4%	18.2%	24.4%
	(再掲) 「行動や生き方が自由」を 選択 (2,433) 非選択 (973)		65.3% 48.4%	55.9% 38.8%	49.5% 39.0%	27.6% 18.0%	33.3% 27.9%	20.2% 17.3%	21.2% 19.0%	26.9% 19.9%

注：対象は18~34歳の未婚者。それぞれの項目はあてはまる全てに回答が可能。

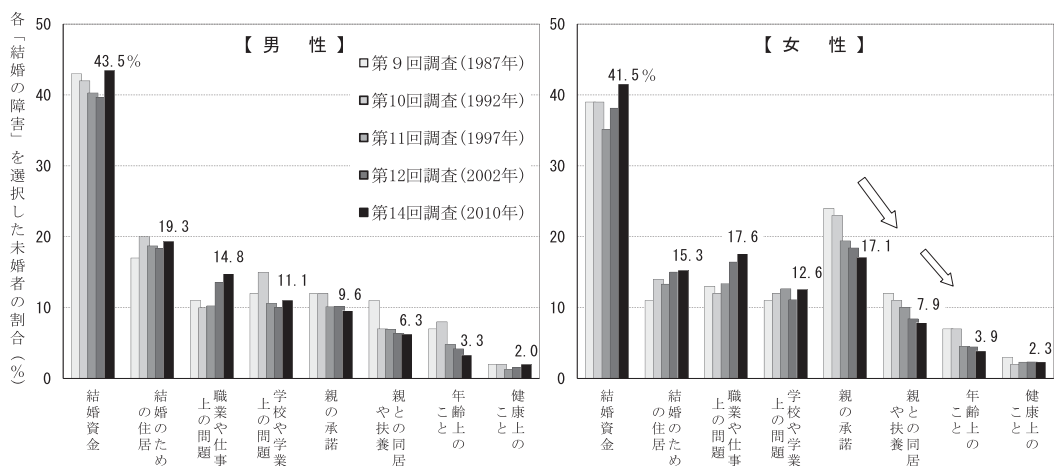
設問「あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください」

(3) 結婚へのハードル

結婚に障害となるもの「結婚資金」が増加

結婚意思のある未婚者に、一年以内に結婚するとしたら何か障害となることをたずねたところ、男女とも「結婚資金」を挙げた人が最も多く(男性 43.5%、女性 41.5%)、今回これまでで最も高い割合となった。女性では「親の承諾」「親との同居や扶養」を結婚の障害と考える人が減っている。

図1-6 調査別にみた、結婚の障害の内容



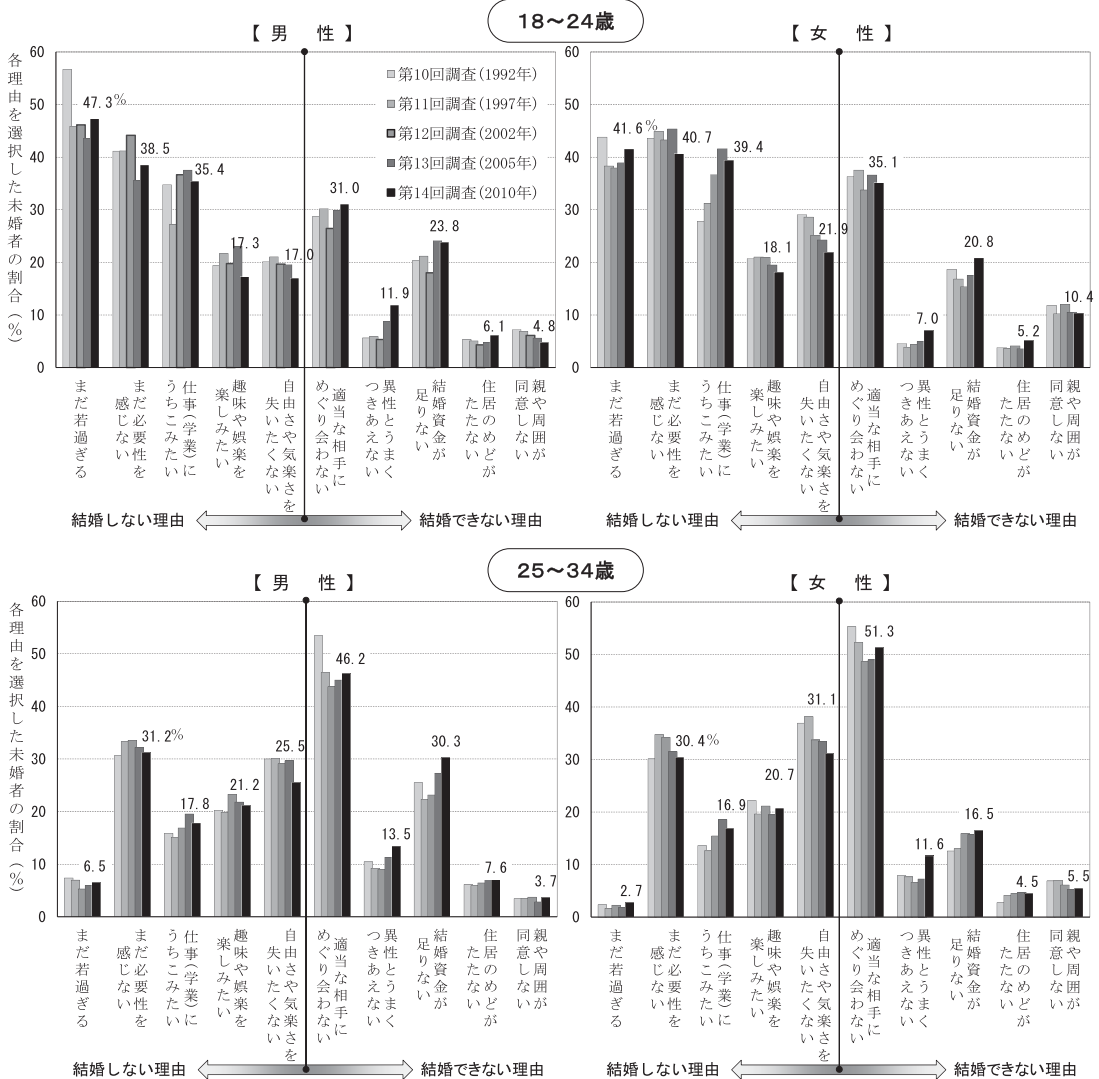
注：18~34歳未婚者のうち何%の人が各項目を結婚の主要な障害(二つまで選択)と考えているかを示す。グラフ上の数値は第14回調査の結果。結婚意思のある18~34歳未婚者の中で結婚に何らかの障害があると回答した割合は、第9回(男性67.1%、女性69.2%)、第10回(同67.9%、71.3%)、第11回(65.0%、67.8%)、第12回(64.5%、70.1%)、第14回(68.1%、71.5%)。

(4) なぜ結婚しないのか？

結婚をする積極的理由の欠如や、25歳を過ぎると適当な相手がいないことが制約

未婚者に独身でいる理由をたずねたところ、若い年齢層(18～24歳)では「(結婚するには)まだ若すぎる」「必要性を感じない」「仕事(学業)にうちこみたい」など、結婚するための積極的な動機がないこと(“結婚しない理由”)が多く挙げられている。一方、25～34歳の年齢層になると、「適当な相手にめぐり合わない」を中心に、結婚の条件が整わないこと(“結婚できない理由”)へ重心が移る。しかし、この年齢層でも「必要性を感じない」「自由さや気楽さを失いたくない」と考える未婚者は多い。その他、「結婚資金が足りない」や「異性とうまくつきあえない」などは今回増加が見られる。

図1-7 調査・年齢別にみた、独身にとどまっている理由



注：未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(三つまで選択)として挙げているかを示す。グラフ上の数値は第14回調査の結果。設問「あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか、ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高三つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください(すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12を記入してください)」

2. パートナーシップ —ゆらぐ男女のかかわり—

(1) 異性との交際

異性の交際相手をもたない未婚者が増加、男性で6割、女性で5割

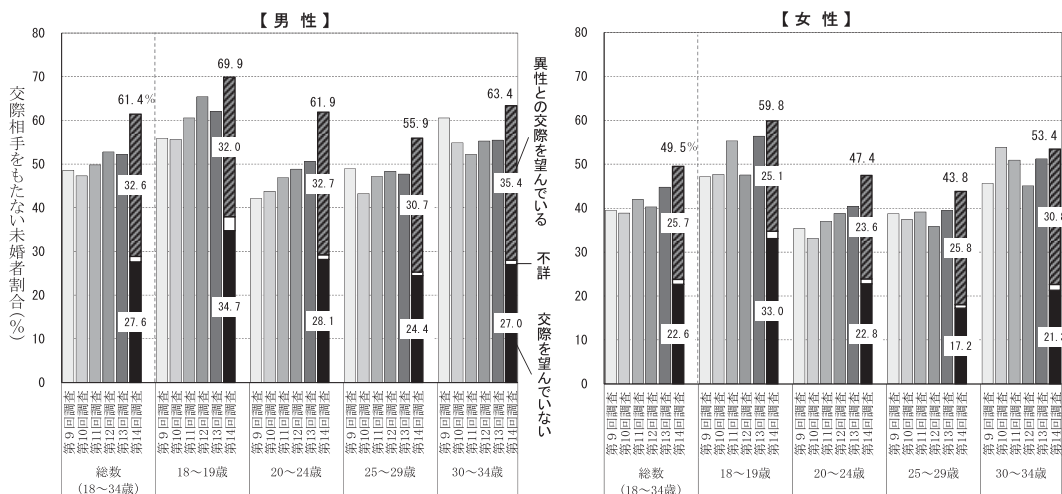
「交際している異性はいない」と回答した未婚者は男性 61.4%(前回 52.2%)、女性 49.5%(同 44.7%)といずれも前回から上昇した(表 2-1、図 2-1)。また、交際相手をもたず、かつ交際を望んでいない未婚者は、男性では全体の 27.6%、女性では 22.6%を占めている。一方、結婚をしたいと思う交際相手をもつ割合は、男性 18.4%(前回 20.5%)、女性 27.0%(同 27.3%)である(表 2-1)。

表 2-1 調査別に見た、未婚者の異性との交際の状況

異性との交際 交際相手との結婚希望/交際の希望	【男性】						【女性】					
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
婚約者がいる	2.9%	3.2	2.9	2.7	2.9	1.8	4.6%	3.9	3.8	3.9	4.8	3.1
恋人として交際している異性がいる	19.4	23.1	23.3	22.4	24.3	22.8	26.2	31.6	31.6	33.1	31.9	30.9
結婚したいと思っている とくに結婚は考えていない	-	15.1	15.5	13.2	15.9	15.1	-	20.8	20.0	21.9	21.0	21.9
友人として交際している異性がいる	23.6	19.2	15.3	11.3	14.0	9.4	25.4	19.5	15.9	12.4	12.9	11.9
結婚したいと思っている とくに結婚は考えていない	-	2.3	2.2	1.6	1.8	1.5	-	2.2	2.4	2.1	1.5	2.0
交際している異性はいない	48.6	47.3	49.8	52.8	52.2	61.4	39.5	38.9	41.9	40.3	44.7	49.5
交際を望んでいる	-	-	-	-	-	32.6	-	-	-	-	-	25.7
とくに異性との交際を望んでいない	-	-	-	-	-	27.6	-	-	-	-	-	22.6
不詳	5.5	7.2	8.7	10.9	6.6	4.6	4.3	6.3	6.8	10.2	5.7	4.6
(再掲)結婚したい交際相手あり	-	20.6	20.6	17.5	20.5	18.4	-	26.8	26.2	27.9	27.3	27.0
総数 (18~34歳) (集計客体数)	100.0% (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)	100.0% (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)

注：対象は 18 歳～34 歳未婚者。異性との交際に関する年齢別の詳細な数値は付表 5 (巻末) 参照。「結婚したい交際相手」には婚約者を含む。設問「あなたには現在、交際している異性がありますか」 交際している異性がある場合「最も親しい交際相手との結婚の希望」、交際している異性がない場合「異性との交際の希望」。

図 2-1 調査・年齢別に見た、交際相手をもたない未婚者の割合と交際の希望



注：表 2-1 に同じ。異性の交際相手(婚約者、異性の恋人、異性の友人)をもたない未婚者の割合。交際の希望は第 14 回調査のみ。設問「あなたには現在、交際している異性がありますか」において交際している異性がない場合、「異性との交際の希望」(1.交際を望んでいる、2.とくに異性との交際を望んでいない)。

(2) 性経験

男性に続き、女性でも性経験割合の上昇が頭打ち

性経験のある未婚者割合は、男性ではそれまでの上昇傾向が1990年代後半から頭打ちとなっていたが、これに遅れて女性でも2000年代に入り上昇に歯止めがかかっている。今回調査では、30代前半の未婚女性を除き、男女いずれの年齢層でも性経験がないと回答した割合が前回よりも上昇した。

表2-2 調査・年齢別にみた、未婚者の性経験の構成

年 齢	性経験なし						性経験あり						
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	
【男 性】	18～19歳	71.9 %	70.9	64.9	64.2	60.7	68.5	24.3	25.1	31.9	33.3	31.5	26.0
	20～24歳	43.0	42.5	35.8	34.2	33.6	40.5	52.7	54.8	60.0	60.1	57.5	56.3
	25～29歳	30.0	24.8	25.3	25.6	23.2	25.1	66.6	71.3	70.6	69.3	66.0	71.7
	30～34歳	27.1	22.7	23.4	23.4	24.3	26.1	68.3	72.3	71.3	71.0	64.3	69.9
	総数(18～34歳)	43.1 %	41.5	35.7	35.3	31.9	36.2	53.0	54.9	60.1	59.8	58.2	60.2
参考(35～39歳)	-	26.4	26.1	24.8	26.5	27.7	-	70.1	70.4	69.4	64.8	68.8	
【女 性】	18～19歳	81.0 %	77.3	68.3	62.9	62.5	68.1	17.4	20.7	28.2	32.3	31.8	28.1
	20～24歳	64.4	53.0	42.6	38.3	36.3	40.1	31.9	42.0	52.0	55.7	54.2	54.9
	25～29歳	53.5	44.4	34.1	26.3	25.1	29.3	40.0	46.7	58.3	64.8	60.4	63.4
	30～34歳	44.4	40.9	28.8	26.6	26.7	23.8	38.8	49.8	61.3	62.8	55.0	68.2
	総数(18～34歳)	65.3 %	56.3	43.5	37.3	36.3	38.7	30.2	38.3	50.5	55.4	52.1	55.3
参考(35～39歳)	-	41.3	30.9	28.4	21.6	25.5	-	48.6	57.0	61.6	56.9	64.4	

注：対象は18～34歳の未婚者。客体数：第9回(男性3,299、女性2,605)、第10回(男性4,215、女性3,647)、第11回(男性3,982、女性3,612)、第12回(男性3,897、女性3,494)、第13回(男性3,139、女性3,064)、第14回(男性3,667、女性3,406)。性経験不詳の割合は構成比には含むが掲載は省略。

設問「あなたはこれまでに異性と性交渉をもったことがありますか。」(1.ある、2.ない)。

ただし、第13回調査の選択肢は、1.過去1年以内にある、2.過去1年以内にはないが、以前にはある、3.ない。

(3) 同 棲

同棲経験割合は減少に転じる

前回調査まで増加傾向にあった未婚者の同棲経験割合は、今回全ての年齢層で減少に転じ、30代前半の経験割合は男性8.9%(前回9.9%)、女性9.3%(同10.6%)であった。

表2-3 調査・年齢別にみた、同棲経験のある未婚者の割合

性・年齢	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	
【男 性】	18～19歳	1.2% (0.5)	0.9 (0.2)	0.6 (0.5)	1.8 (0.8)	0.9 (0.5)	0.5 (0.2)
	20～24歳	3.5 (1.0)	4.2 (1.3)	4.5 (2.1)	6.0 (2.8)	5.7 (2.5)	2.5 (0.9)
	25～29歳	3.3 (0.7)	6.7 (1.3)	7.1 (1.7)	10.3 (2.8)	11.8 (2.2)	8.6 (2.9)
	30～34歳	5.0 (1.5)	7.1 (1.6)	6.0 (1.9)	6.9 (1.8)	9.9 (1.3)	8.9 (1.6)
	総数(18～34歳) (集計客体数)	3.2% (0.9) (3,299)	4.5 (1.1) (4,215)	4.8 (1.7) (3,982)	6.7 (2.3) (3,897)	7.9 (1.9) (3,139)	5.5 (1.6) (3,667)
参考(35～39歳)	-	-	11.0 (1.9)	8.0 (1.0)	9.3 (1.2)	9.0 (1.0)	7.0 (0.7)
【女 性】	18～19歳	1.9% (0.8)	1.3 (0.8)	2.6 (1.0)	3.0 (1.7)	1.7 (1.1)	0.2 (0.0)
	20～24歳	2.7 (0.8)	3.1 (1.1)	4.4 (2.3)	7.5 (2.7)	6.7 (2.2)	5.0 (1.5)
	25～29歳	4.1 (0.0)	4.5 (1.4)	5.3 (1.0)	10.0 (3.0)	10.1 (2.9)	8.0 (2.1)
	30～34歳	4.4 (0.6)	6.1 (1.6)	7.6 (1.5)	8.2 (1.4)	10.6 (3.0)	9.3 (2.8)
	総数(18～34歳) (集計客体数)	2.8% (0.7) (2,605)	3.1 (1.1) (3,647)	4.6 (1.7) (3,612)	7.6 (2.4) (3,494)	7.3 (2.3) (3,064)	5.8 (1.6) (3,406)
参考(35～39歳)	-	-	7.2 (0.7)	5.4 (0.7)	5.2 (0.5)	8.6 (3.1)	7.5 (1.6)

注：対象は18～34歳の未婚者。表中の数字は同棲経験のある人の割合。また()内の数値は現在同棲している人の割合。

設問「あなたはこれまでに同棲の経験(特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活をしたことがありますか。)(1.ない、2.以前はあるが現在はしていない、3.現在している)。

3. 希望の結婚像 —どんな結婚を求めているのか—

(1) 希望する結婚年齢

希望する結婚年齢の上昇続く

未婚者が結婚したいと思う年齢(平均希望結婚年齢)は、各年齢層で男女ともに上昇しており、18～34歳の未婚者の平均希望結婚年齢は男性で30.4歳(前回30.0歳)、女性で28.4歳(同28.1歳)となった。

表3-1 調査・年齢別にみた、未婚者の平均希望結婚年齢の推移

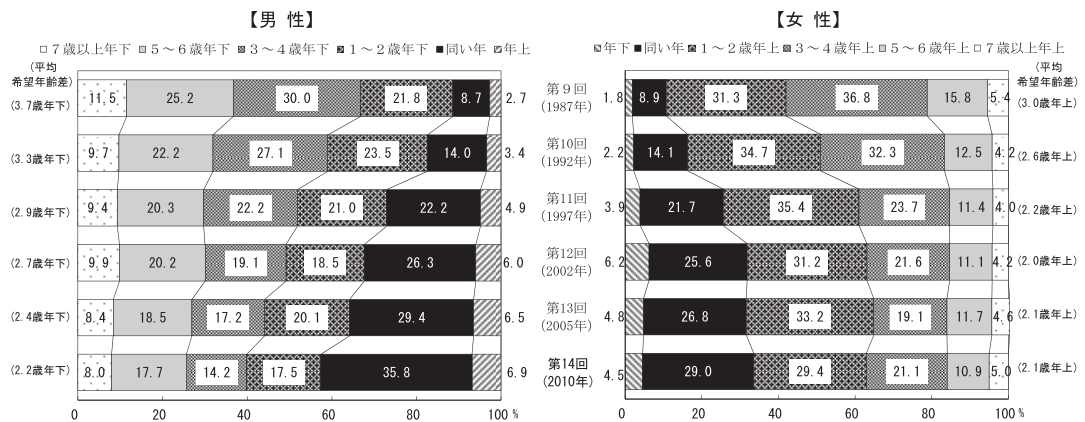
年 齢		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
【男 性】	18～19歳	26.7歳	27.2	26.8	27.3	26.4	27.3
	20～24歳	27.4	27.8	28.0	28.2	27.9	28.4
	25～29歳	29.5	30.1	30.4	31.0	30.7	31.0
	30～34歳	34.0	34.2	34.7	35.0	35.1	35.4
	総数(18～34歳) (集計客体数)	28.4歳 (2,610)	28.9 (3,439)	29.3 (3,040)	29.8 (2,910)	30.0 (2,396)	30.4 (2,830)
【女 性】	18～19歳	24.1歳	24.7	25.3	25.2	25.2	25.5
	20～24歳	25.2	25.7	26.3	26.4	26.5	26.6
	25～29歳	28.3	29.0	29.2	29.7	29.7	29.8
	30～34歳	33.1	33.8	34.0	34.1	34.2	34.3
	総数(18～34歳) (集計客体数)	25.6歳 (2,112)	26.5 (3,026)	27.4 (2,872)	28.1 (2,678)	28.1 (2,424)	28.4 (2,748)

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者(希望結婚年齢不詳を除く)。

年齢の近い結婚相手を望む傾向が拡大

結婚相手との年齢差についての希望を見ると、近年男女ともに縮小傾向にあり、未婚者の間で年齢の近い相手(とくに同い年の相手)を希望する人が増えている。とりわけ男性における「同い年志向」の増加が顕著であり、今回調査では35.8%(前回29.4%)を占めるに至った。

図3-1 調査別にみた、結婚相手との希望年齢差の構成



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者(希望結婚年齢不詳を除く)。希望する結婚相手との年齢差は、対象者が希望する、本人と相手の結婚年齢の差。不詳を除く構成。図の両端()内の数値は希望年齢差の平均値。なお、第14回(2010年)夫婦調査による実際の夫妻年齢差(調査時点より過去5年間に結婚した夫婦)は1.7歳であった。

(2) 希望するライフコース

実際になりそうなライフコースは専業主婦コースが減り、両立コースが拡大

未婚女性が理想とするライフコース(理想ライフコース)は1990年代に専業主婦コースが減って、両立コースが増えたが、その後は大きな変化はない。一方、実際になりそうだと考えるライフコース(予定ライフコース)では、専業主婦コースの減少が現在まで続いており、今回はじめて1割を下回った(9.1%)。また、これに代わって両立コースおよび非婚就業コースの増加傾向が続いている。

男性がパートナーに望むライフコースも、専業主婦コースに代わって両立コースが増大

未婚男性がパートナーとなる女性に望むコースでも、女性の予定ライフコースと同様に専業主婦コースが減少し、両立コースが増加する傾向が続いている。専業主婦を望む人が1割(10.9%)に減少する一方で、両立コースを望む人は2000年前後にこれを逆転し、今回は3割を超えている(32.7%)。

ライフコースの説明：

専業主婦コース＝結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

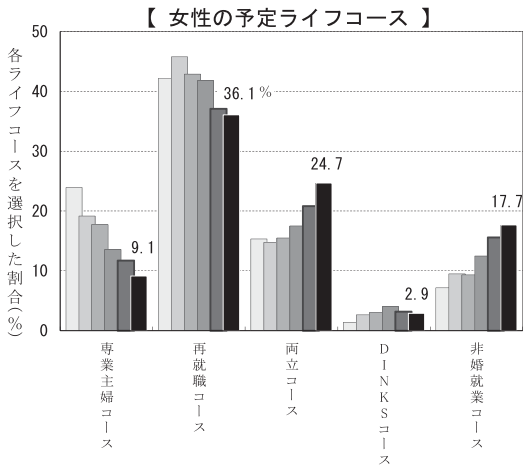
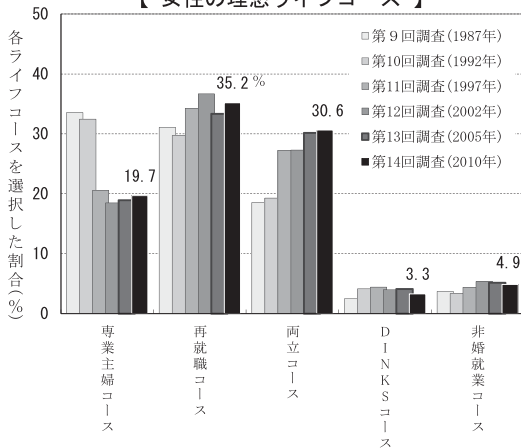
再就職コース＝結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

両立コース＝結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける

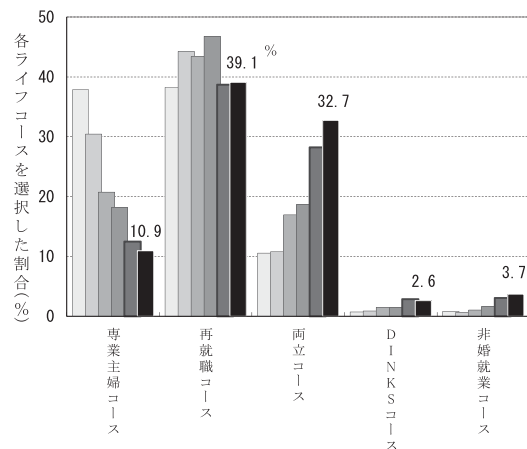
DINKSコース＝結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける

非婚就業コース＝結婚せず、仕事を一生続ける

図3-2 調査別にみた、女性の理想・予定のライフコース、男性が女性に望むライフコース
【女性の理想ライフコース】



【男性がパートナーに望むライフコース】



注：対象は18～34歳未婚者。その他および不詳の割合は省略。全回答の数値については、付表6(巻末)を参照。

設問

女性の理想ライフコース：(第9～10回調査)「現実の人生と切りはなして、あなたの理想とする人生はどのようなタイプですか」、(第11～14回調査)「あなたの理想とする人生はどのタイプですか」。

女性の予定ライフコース：(第9～10回調査)「これまでを振り返った上で、実際になりそうなあなたの人生はどのようなタイプですか」、(第11～14回調査)「理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか」。

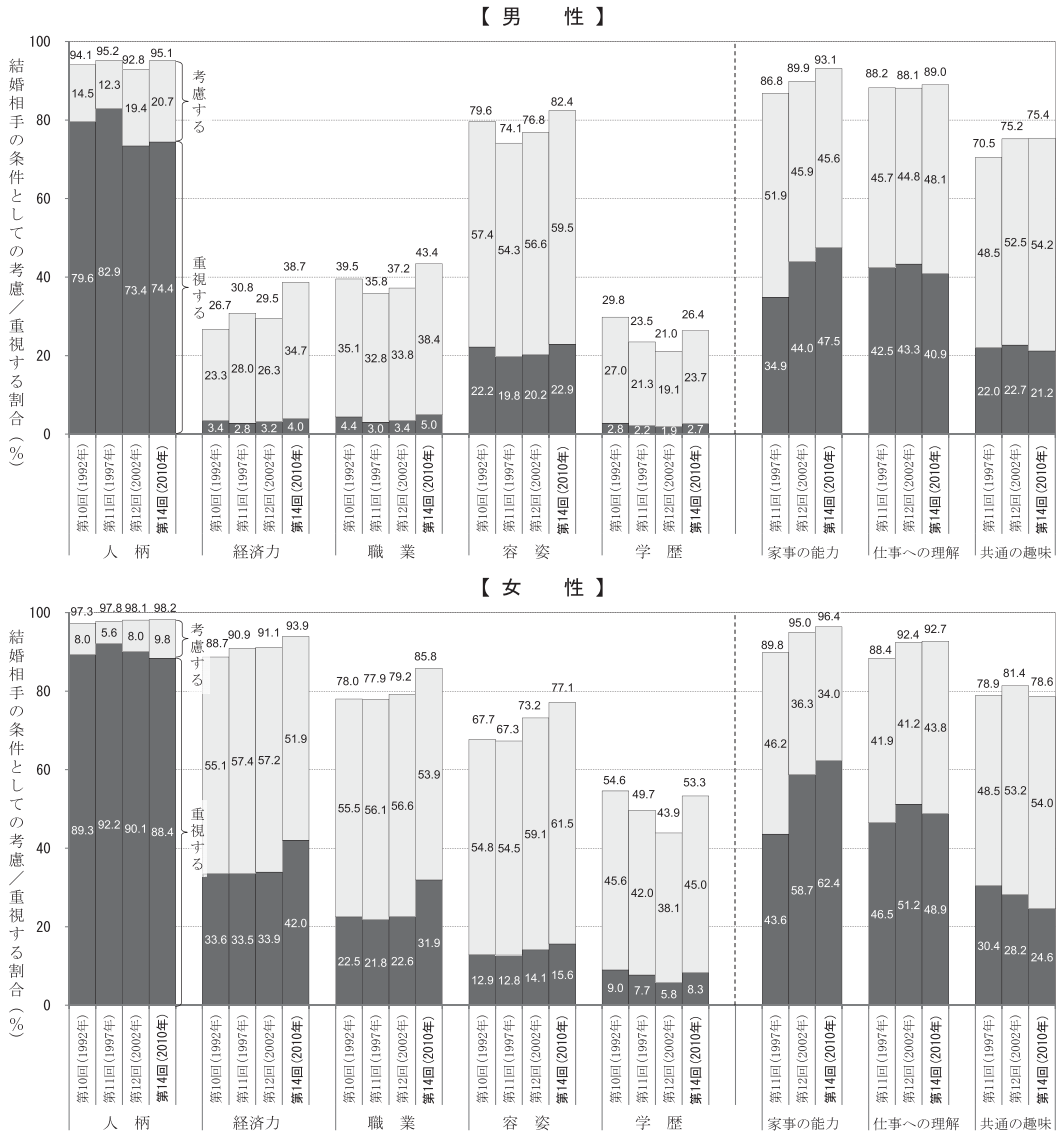
男性がパートナー(女性)に望むライフコース：(第9～12回調査)「女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか」、(第13～14回調査)「パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか」。

(3) 結婚相手に求める条件

結婚相手の条件として「家事・育児の能力」が増加、女性では「経済力」「職業」の重視傾向も強まる

結婚する意思のある未婚者が結婚相手に求める条件としては、男女とも「人柄」を重視または考慮する人が最も多いが、「家事・育児の能力」「自分の仕事への理解」も大多数の未婚者が重視している。とくに「家事・育児の能力」は約10年前の第11回調査(1997年)に比べ、「重視する」割合が顕著に増加している。その他、「容姿」「共通の趣味の有無」は男女ともに考慮・重視する割合が高いが、女性では「経済力」「職業」を考慮・重視する割合がこれらよりも高く、とりわけ「経済力」「職業」を「重視する」割合は、今回の調査で明瞭な増加が見られる。

図3-3 調査別にみた、結婚相手の条件として考慮・重視する割合の推移



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。
 設問「あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。」
 (1.重視する、2.考慮する、3.あまり関係ない)

(4) 子ども数についての希望

未婚者の希望子ども数、男性で低下、女性では微増

結婚する意思のある未婚者が希望する子ども数の平均値は近年わずかず減る傾向にあるが、今回男性では 2.04 人となり、これまでで最も低い値となった。一方、女性では前回調査(2005 年)から傾向が反転し、今回もやや上昇して 2.12 人となった。なお、前回調査からは女性の希望子ども数が男性の値を上回っており、今回その差はやや開いた。

表 3-2 調査・年齢別にみた、未婚者の平均希望子ども数

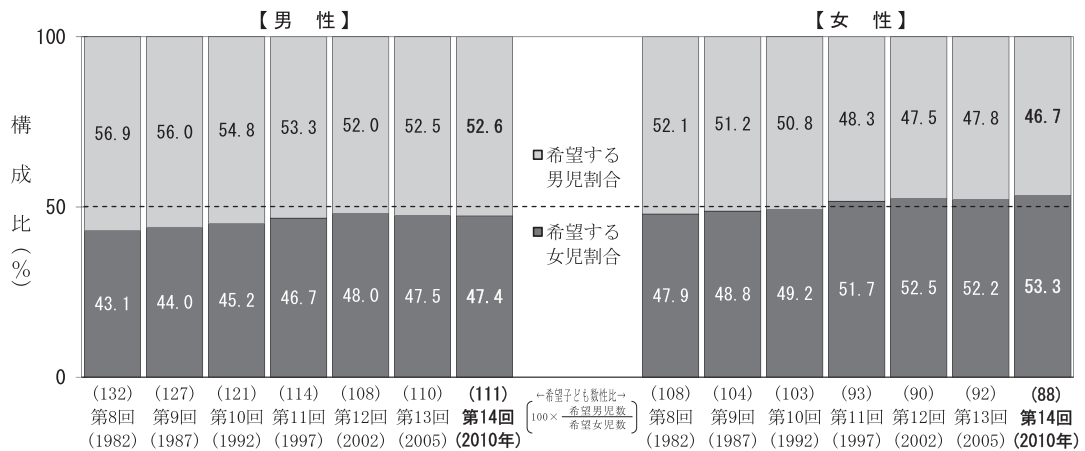
年 齢		第 8 回調査 (1982年)	第 9 回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
【男 性】	18～19歳	2.32 人	2.30	2.19	2.21	2.18	2.15	2.09
	20～24歳	2.35	2.30	2.25	2.15	2.05	2.11	2.09
	25～29歳	2.37	2.30	2.22	2.14	1.99	2.05	2.05
	30～34歳	2.30	2.26	2.21	2.13	1.98	2.01	1.92
	総数(18～34歳) (集計客体数)	2.34 人 (2,573)	2.30 (2,929)	2.23 (3,672)	2.15 (3,203)	2.05 (3,270)	2.07 (2,652)	2.04 (3,084)
【女 性】	18～19歳	2.35 人	2.29	2.20	2.25	2.13	2.23	2.16
	20～24歳	2.34	2.26	2.22	2.16	2.09	2.18	2.20
	25～29歳	2.18	2.18	2.10	2.13	1.98	2.03	2.06
	30～34歳	1.90	1.83	1.90	1.76	1.87	1.84	1.97
	総数(18～34歳) (集計客体数)	2.29 人 (1,970)	2.23 (2,371)	2.17 (3,212)	2.13 (3,093)	2.03 (3,001)	2.10 (2,698)	2.12 (2,993)

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた 18～34 歳未婚者。平均希望子ども数は 5 人以上を 5 として算出。希望子ども数不詳を除く。

女性では女の子を多く望む傾向が継続している

希望する子ども数における男女の比率は、従来未婚男女ともに男の子をより多く望む傾向にあったが、しだいに女の子を望む割合が増えてきた。第 11 回調査(1997 年)以降、女性では希望子ども数における女の子の希望が半数を超えている。一方、男性では第 12 回調査(2002 年)以降は男の子をわずかに多く希望する水準で変化が止まっており、近年の未婚男女はそれぞれと同性的子どもをより多く望むかたちとなっている。

図 3-4 調査別にみた、希望男女児数の総和の構成



注：対象は「いずれ結婚するつもり」で希望子ども数が 1 人以上かつ男女児組合せに希望があったとした 18～34 歳未婚者。本図は回答された希望の男女児組合せにおける総男女児数の構成を示し、グラフ下の () 内の数値は、その性比(希望女児数 100 に対する希望男児数)であり、女児選好が強いほど値が小さくなる。具体的な性別組合せごとの構成は付表 7 (巻末)を参照。

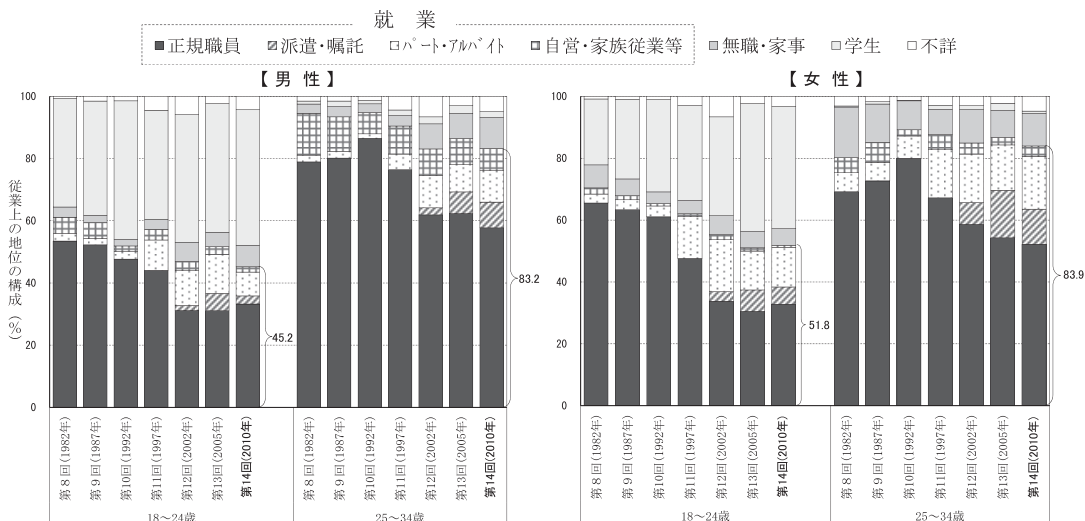
4. 未婚者の生活と意識 - 若者たちを取り巻く状況と意識 -

(1) 就業・親との同別居

パート・派遣として働く割合が増加

未婚者の就業の状況を調べた。今回の調査では就業している割合は 18～24 歳男性で 45.2%、女性で 51.8%、25～34 歳男性で 83.2%、女性で 83.9%であった。いずれの年齢層においてもパートや派遣として働く割合が上昇しており、正規の職員である割合は 1990 年代に比べ、男女とも大きく低下している。18～24 歳では、女性を中心に学生の割合が高まっていることもこれに寄与している。

図 4-1 調査・年齢別にみた、未婚者の従業上の地位の構成



注：対象は 18～34 歳の未婚者。派遣・嘱託の区分は第 12 回調査以降で追加(第 13 回調査以降、契約社員が追加)。年齢別の詳細な数値は付表 8(巻末)を参照。

未婚者の親との同居率は横這い

親と同居している割合は、男性は 70%前後、女性は 75%前後で推移している。またパート・アルバイト、無職・家事の場合に、同居率が高い傾向にある。

表 4-1 調査・就業の状況別にみた、親と同居する未婚者の割合

	就業の状況	第 8 回調査 (1982年)	第 9 回 (1987年)	第 10 回 (1992年)	第 11 回 (1997年)	第 12 回 (2002年)	第 13 回 (2005年)	第 14 回 (2010年)
【男 性】	総 数(18～34歳)	69.6%	70.4	62.8	65.5	69.5	70.3	69.7
	正規職員	71.1%	69.8	67.4	64.8	72.3	66.9	66.7
	自営・家族従業等	88.7	88.5	85.1	81.8	79.1	81.4	81.7
	派遣・嘱託	-	-	-	-	67.1	75.3	73.3
	パート・アルバイト	64.6	77.9	71.6	75.3	80.1	80.0	83.7
	無職・家事	82.8	87.6	90.8	86.9	85.0	84.6	88.1
	学生	56.4	63.6	46.5	53.3	50.9	63.9	60.0
	(集計客体数)	(2,732)	(3,299)	(4,215)	(3,982)	(3,897)	(3,139)	(3,667)
【女 性】	総 数(18～34歳)	82.0%	78.0	76.7	74.5	76.4	76.4	77.2
	正規職員	81.7%	80.4	77.4	78.5	77.9	79.5	76.3
	自営・家族従業等	86.2	78.8	82.5	78.6	73.3	79.6	80.6
	派遣・嘱託	-	-	-	-	84.6	83.1	86.2
	パート・アルバイト	87.2	84.2	85.4	77.1	83.0	87.7	85.6
	無職・家事	88.7	90.3	93.3	86.4	85.2	89.4	86.9
	学生	78.0	64.9	68.6	58.9	63.9	58.8	67.8
	(集計客体数)	(2,110)	(2,605)	(3,647)	(3,612)	(3,494)	(3,064)	(3,406)

注：図 4-1 に同じ。派遣・嘱託の区分は第 12 回調査以降で追加(第 13 回調査以降、契約社員が追加)。就業の状況(従業上の地位)の構成は付表 8(巻末)を参照。

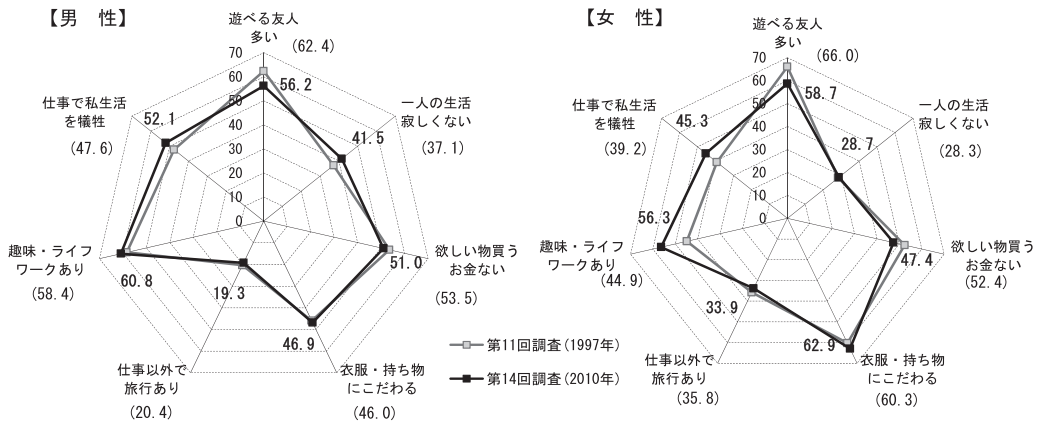
(2) 未婚者のライフスタイル

交友が減り、仕事で私生活を犠牲にする人が増加、ただし女性では趣味・ライフワークを持つ人が増加

未婚者の人付き合い、消費、仕事、生きがいの実態について調べた。「衣服・持ち物にこだわる」「仕事以外で旅行あり」の割合は女性で高く(それぞれ 62.9%、33.9%)、「一人の生活を続けても寂しくない」と考える割合は男性で高い(41.5%)(図4-2)。同項目を調べた第11回調査(1997年)と比較すると、男女ともに「遊べる友人が多い」が6~7ポイント減少し、「仕事で私生活を犠牲」が4~6ポイント増加した。また女性では「趣味・ライフワークあり」が11ポイント上昇し56.3%となった。

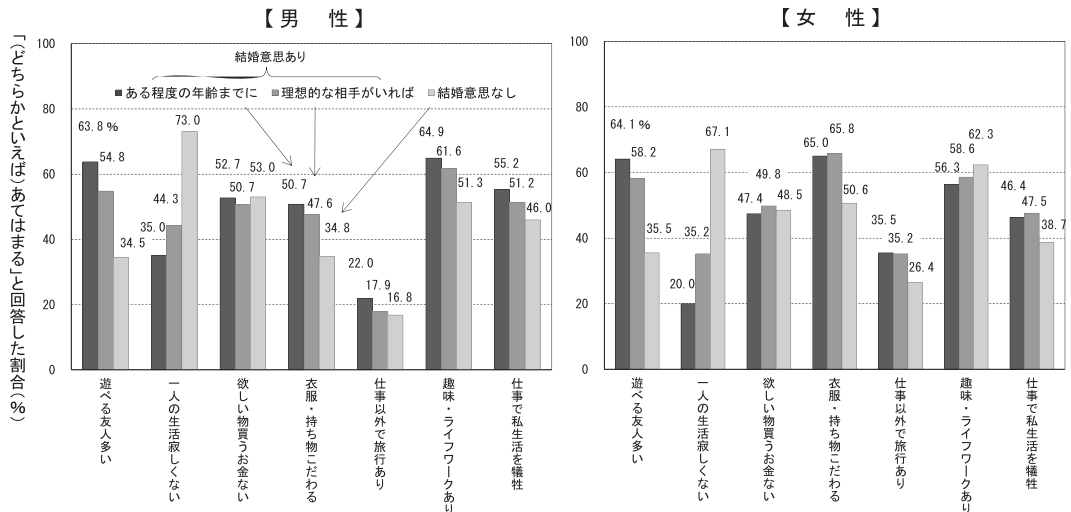
結婚の意思別に比較すると、結婚意欲が強い人の方が生活全般に対して積極的である傾向がみられる(図4-3)。ただし趣味・ライフワークについては、女性では結婚意欲が弱いほど持っている割合が高く、男性とは反対の傾向となっている。

図4-2 調査別にみた、未婚者のライフスタイルの実態



注：対象は18~34歳未婚者。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合計した回答割合(%)。「仕事で私生活を犠牲」は、職業を持つ人のみ回答。第11回調査の数値は()内に表示。第14回調査の詳細な数値は付表9(巻末)を参照。

図4-3 結婚の意思別にみた、未婚者のライフスタイルの実態：第14回調査(2010年)



注：図4-2に同じ。結婚の意思については1-(1)を参照。

(3) 結婚・家族に関する意識

「男らしさ女らしさは必要」、「結婚しても自分の目標を」

結婚、家族、男女関係などに関する未婚者の考え方を11項目にわたって調べた。男女双方の8割以上が「④男らしさや女らしさが必要」「③婚前の性交渉はかまわない」「⑤結婚しても自分の目標を持つべき」という考えを支持している。「⑧子どもは持つべき」「⑨幼子の母親は家にいるべき」という考えは7割以上の支持を得、「⑩性格の不一致くらいで別れるべきでない」「②同棲より結婚すべき」という意見は、男性7割台、女性6割台、「①生涯独身でいるのはよくない」は、男性6割強、女性6割弱、「⑥結婚に犠牲は当然」は男性6割弱、女性4割強に支持されている。男女とも支持が半数に満たないのは「⑦夫は仕事、妻は家庭」「⑩結婚せずに子ども持ってよい」(3割台)である。全般的に男性の方が一般に伝統的と見なされている考え方を支持している割合が高い。特に違いが大きいのは、順に「⑥結婚に犠牲当然」「⑩離婚避けるべき」「⑧子どもは持つべき」などである。

表4-2 結婚・家族に関する意識：第14回調査(2010年)

結婚・家族に関する考え方	【未婚男性】		【未婚女性】		(参考) 【妻(夫婦調査)】	
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	64.0 %	31.9	57.1 %	39.4	57.9 %	38.7
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	73.5	22.8	67.4	29.4	68.5	28.5
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	84.0	11.9	83.2	13.0	89.2	7.7
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	86.1	10.4	85.0	11.8	88.2	9.1
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	81.2	14.9	84.2	11.9	84.9	12.2
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	58.2	38.0	45.4	51.2	52.4	44.8
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	36.0	60.1	31.9	64.7	30.9	66.2
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	77.3	18.7	70.1	26.3	67.8	28.6
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	73.3	22.9	75.4	21.5	66.2	30.7
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	72.3	23.8	62.2	34.1	58.2	38.5
⑪ 結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	31.6	64.7	33.7	62.9	39.1	57.9

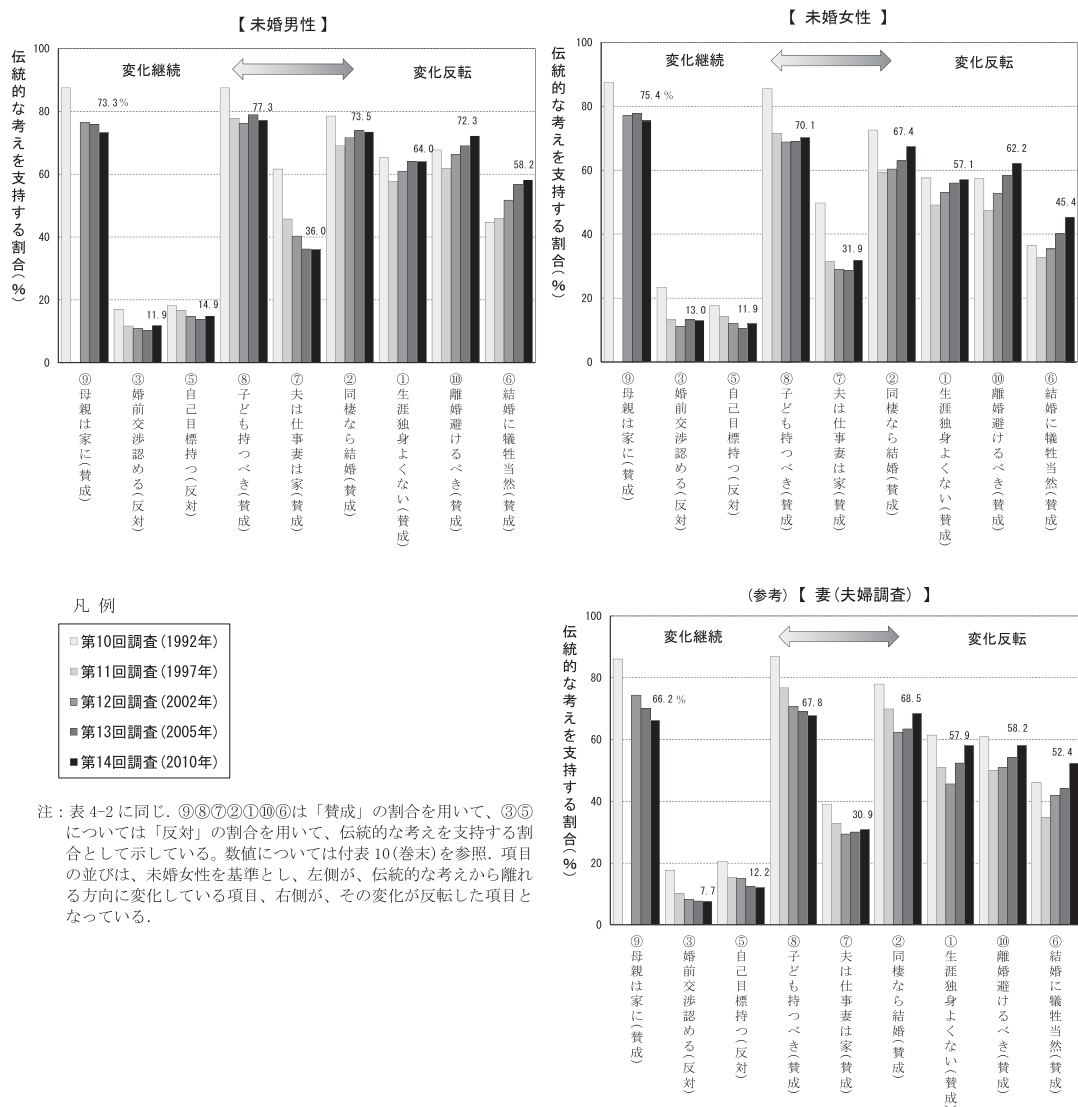
注：対象は18～34歳未婚者。集計客体数：男性3,667、女性3,406。⑩は第14回調査における新規項目。参考に示した本調査・夫婦調査による妻の数値は、初婚どうしの夫婦の35歳未満の妻を対象とする(集計客体数：1,776)。

結婚・家族離れの傾向に変化

意識の調査を始めた第10回調査(1992年)からの変化をみると、当初はどの項目についても一般に伝統的と見なされている考え方から離れていく傾向がみられたが、2000年代以降は項目によって変化の方向に違いが生じている。「⑨幼子の母親は家にいるべき」では、男女ともに変化が継続しているが、「③婚前の性交渉はかまわない」「⑤結婚しても自分の目標を持つべき」「⑧子どもは持つべき」では変化に歯止めがかかっている。「⑦夫は仕事、妻は家庭」については、男性では支持の下げ止まりがみられ、女性では今回調査で反転した。

1990年代の傾向が明らかに反転した項目は、「⑩離婚避けるべき」「①生涯独身でいるのはよくない」「②同棲より結婚すべき」である(いずれも2002年に反転)。その他「⑥結婚に犠牲は当然」についても、伝統的な考えへの支持が増えている。なお、こうしたパターンは夫婦調査における同年齢層の妻の結果でも、やや反転時期が遅れるかたちで確認できる。

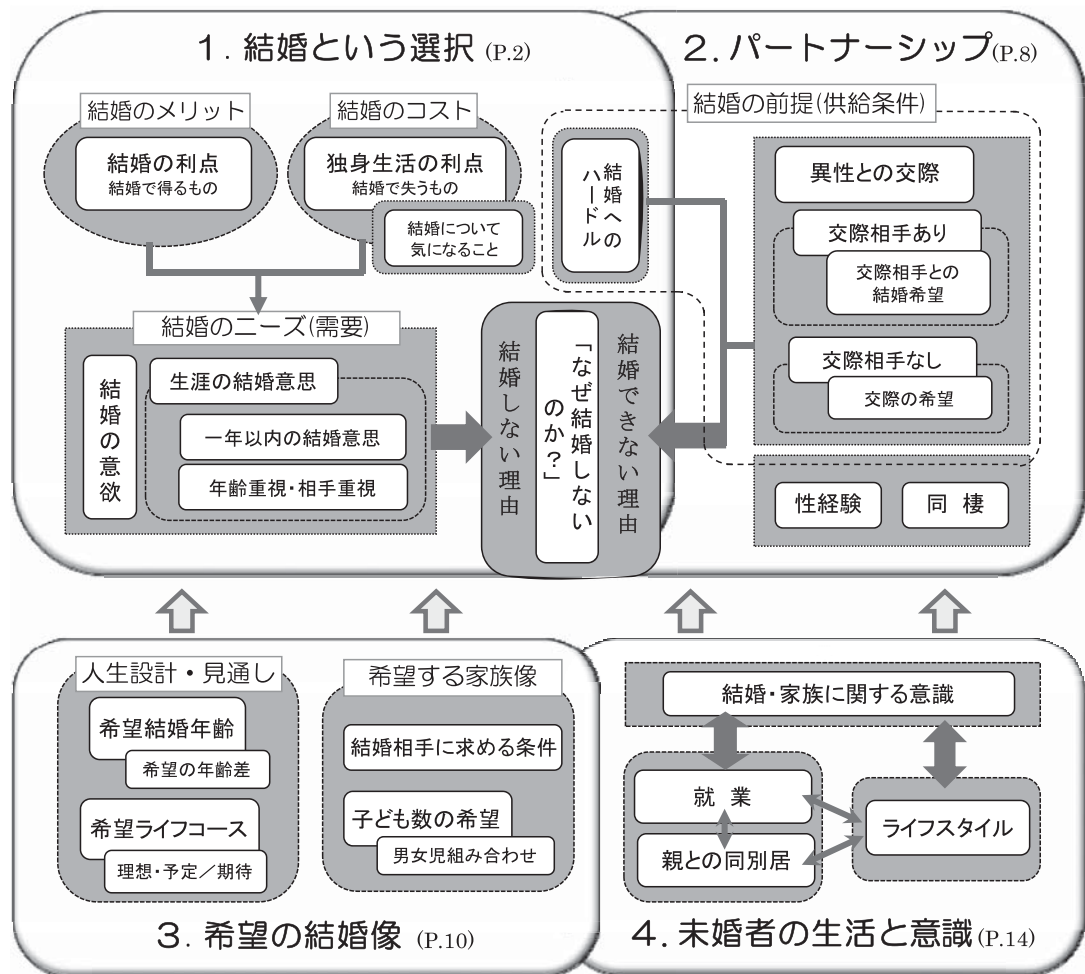
図 4-4 調査別にみた、結婚・家族に関する意識



【調査のフレームワーク】

本調査は、参考図が示すように、結婚の変動を引き起こす要因には「結婚しない理由」と「結婚できない理由」があるとの考え方にに基づき、「結婚しない理由」として結婚のニーズ(需要)を捉える項目と、そのニーズを決める結婚のメリットやコストに関する未婚者の考え方を調べている。また、「結婚できない理由」としては、結婚相手の存在、すなわち異性との交際状況や結婚を阻んでいる直接的な要因について調べている。さらに人生の見通しや希望の家族像を通して、未婚者がどのような将来像や結婚生活を思い描いているのかを探り、一方で現在の暮らしぶりや価値観を多角的に捉えることによって、人々の結婚に対する意識変化の背景に迫っている。

参考図 独身者調査のフレームワークと調査項目



【付 表】

付表1 調査・年齢別にみた、未婚者の生涯の結婚意思

調査／年齢		【男 性】				【女 性】			
		総 数 (客体数)	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	不詳	総 数 (客体数)	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	不詳
第9回調査 (1987年)	総 数	100.0 % (3,299)	91.8 %	4.5	3.7	100.0 % (2,605)	92.9 %	4.6	2.5
	18～19歳	100.0 (601)	90.0	5.7	4.3	100.0 (643)	93.5	4.7	1.9
	20～24歳	100.0 (1,464)	92.6	3.6	3.8	100.0 (1,337)	95.1	2.8	2.2
	25～29歳	100.0 (836)	93.9	3.6	2.5	100.0 (465)	91.8	5.6	2.6
	30～34歳	100.0 (398)	86.9	8.3	4.8	100.0 (160)	75.6	16.9	7.5
第10回調査 (1992年)	総 数	100.0 (4,215)	90.0	4.9	5.1	100.0 (3,647)	90.2	5.2	4.6
	18～19歳	100.0 (845)	87.5	6.2	6.4	100.0 (878)	88.8	5.5	5.7
	20～24歳	100.0 (1,840)	90.9	4.5	4.6	100.0 (1,783)	92.0	3.9	4.2
	25～29歳	100.0 (1,036)	92.0	3.2	4.8	100.0 (739)	89.9	5.5	4.6
	30～34歳	100.0 (494)	87.0	7.5	5.5	100.0 (247)	83.8	12.6	3.6
第11回調査 (1997年)	総 数	100.0 (3,982)	85.9	6.3	7.8	100.0 (3,612)	89.1	4.9	6.0
	18～19歳	100.0 (621)	85.5	7.2	7.2	100.0 (606)	87.6	6.1	6.3
	20～24歳	100.0 (1,683)	86.7	5.5	7.7	100.0 (1,754)	90.7	4.1	5.2
	25～29歳	100.0 (1,149)	87.1	5.5	7.4	100.0 (908)	87.1	5.4	7.5
	30～34歳	100.0 (529)	80.9	9.6	9.5	100.0 (344)	88.7	5.5	5.8
第12回調査 (2002年)	総 数	100.0 (3,897)	87.0	5.4	7.7	100.0 (3,494)	88.3	5.0	6.7
	18～19歳	100.0 (706)	88.4	5.0	6.7	100.0 (591)	85.8	6.1	8.1
	20～24歳	100.0 (1,405)	88.3	4.7	7.0	100.0 (1,394)	90.9	3.9	5.2
	25～29歳	100.0 (1,124)	86.3	5.3	8.4	100.0 (1,012)	87.7	4.2	8.0
	30～34歳	100.0 (662)	83.8	7.3	8.9	100.0 (497)	85.1	8.5	6.4
第13回調査 (2005年)	総 数	100.0 (3,139)	87.0	7.1	5.9	100.0 (3,064)	90.0	5.6	4.3
	18～19歳	100.0 (422)	88.4	5.2	6.4	100.0 (541)	89.5	7.2	3.3
	20～24歳	100.0 (1,025)	87.7	6.8	5.5	100.0 (1,187)	91.5	4.5	4.0
	25～29歳	100.0 (1,025)	88.0	6.9	5.1	100.0 (834)	91.8	4.1	4.1
	30～34歳	100.0 (667)	83.7	9.0	7.3	100.0 (502)	84.3	9.2	6.6
第14回調査 (2010年)	総 数	100.0 (3,667)	86.3	9.4	4.3	100.0 (3,406)	89.4	6.8	3.8
	18～19歳	100.0 (435)	84.1	9.4	6.4	100.0 (530)	89.4	7.9	2.6
	20～24歳	100.0 (1,359)	88.0	8.7	3.3	100.0 (1,371)	91.4	5.4	3.2
	25～29歳	100.0 (1,076)	88.2	7.7	4.1	100.0 (895)	89.3	6.5	4.2
	30～34歳	100.0 (797)	81.9	12.9	5.1	100.0 (610)	84.9	9.3	5.7

注：対象は18歳～34歳未婚者。

付表2 調査・年齢別にみた、結婚年齢重視／理想の相手重視の構成

調査／年齢		【男 性】				【女 性】			
		総 数 (客体数)	ある年齢までには結婚する	理想の相手を待つ	不詳	総 数 (客体数)	ある年齢までには結婚する	理想の相手を待つ	不詳
第9回調査 (1987年)	総 数(18～49歳)	100.0% (3,027)	60.4%	37.5	2.1	100.0% (2,420)	54.1%	44.5	1.3
	35歳未満小計	100.0 (3,027)	60.4	37.5	2.1	100.0 (2,420)	54.1	44.5	1.3
	18～19歳	100.0 (541)	57.9	39.9	2.2	100.0 (601)	56.9	42.1	1.0
	20～24歳	100.0 (1,355)	61.8	36.3	1.8	100.0 (1,271)	57.5	41.5	1.0
	25～29歳	100.0 (785)	63.1	34.5	2.4	100.0 (427)	47.3	50.6	2.1
第10回調査 (1992年)	総 数(18～49歳)	100.0 (4,248)	51.4	46.7	1.9	100.0 (3,454)	47.6	50.8	1.6
	35歳未満小計	100.0 (3,795)	52.8	45.5	1.6	100.0 (3,291)	49.2	49.6	1.3
	18～19歳	100.0 (739)	49.9	48.7	1.4	100.0 (780)	55.0	44.0	1.0
	20～24歳	100.0 (1,673)	55.2	43.4	1.4	100.0 (1,640)	51.2	47.4	1.4
	25～29歳	100.0 (953)	53.3	44.8	1.9	100.0 (664)	44.3	54.5	1.2
第11回調査 (1997年)	総 数(18～49歳)	100.0 (3,902)	46.5	51.8	1.7	100.0 (3,402)	41.4	57.5	1.2
	35歳未満小計	100.0 (3,420)	48.6	50.1	1.3	100.0 (3,218)	42.9	56.1	1.1
	18～19歳	100.0 (531)	47.6	51.2	1.1	100.0 (531)	44.3	54.8	0.9
	20～24歳	100.0 (1,460)	51.0	48.2	0.8	100.0 (1,591)	46.9	52.2	0.9
	25～29歳	100.0 (1,001)	49.7	48.9	1.5	100.0 (791)	40.6	58.2	1.3
第12回調査 (2002年)	総 数(18～49歳)	100.0 (3,958)	46.4	52.0	1.6	100.0 (3,356)	41.4	57.2	1.5
	35歳未満小計	100.0 (3,389)	48.1	50.5	1.4	100.0 (3,085)	43.6	55.2	1.3
	18～19歳	100.0 (624)	47.6	50.5	1.9	100.0 (507)	50.5	47.9	1.6
	20～24歳	100.0 (1,240)	50.2	48.9	1.0	100.0 (1,267)	48.2	50.2	1.6
	25～29歳	100.0 (970)	48.6	50.1	1.3	100.0 (888)	42.2	57.2	0.6
第13回調査 (2005年)	総 数(18～49歳)	100.0 (3,355)	49.1	49.4	1.5	100.0 (3,086)	46.5	52.0	1.5
	35歳未満小計	100.0 (2,732)	51.9	46.7	1.3	100.0 (2,759)	49.5	49.0	1.4
	18～19歳	100.0 (373)	52.3	46.1	1.6	100.0 (484)	50.6	48.1	1.2
	20～24歳	100.0 (899)	52.8	46.3	0.9	100.0 (1,086)	54.9	43.8	1.3
	25～29歳	100.0 (902)	54.9	43.6	1.6	100.0 (766)	50.4	47.9	1.7
第14回調査 (2010年)	総 数(18～49歳)	100.0 (4,134)	53.0	45.9	1.1	100.0 (3,603)	53.6	44.9	1.4
	35歳未満小計	100.0 (3,164)	56.9	42.4	0.7	100.0 (3,044)	58.4	40.5	1.1
	18～19歳	100.0 (366)	54.6	44.5	0.8	100.0 (474)	59.5	39.9	0.6
	20～24歳	100.0 (1,196)	58.8	41.1	0.2	100.0 (1,253)	64.8	34.0	1.2
	25～29歳	100.0 (949)	58.4	40.1	1.5	100.0 (799)	57.1	42.2	0.8
30～34歳	100.0 (653)	52.7	46.7	0.6	100.0 (518)	44.0	54.4	1.5	

注：対象は「いずれ結婚する」と答えた未婚者。

付表3 調査・年齢別にみた、一年以内の結婚意思の構成

一年以内の結婚意思 年 齢	【 男 性 】						【 女 性 】					
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
1 1年以内に結婚したい												
18～19歳	1.1%	1.2	1.5	1.3	1.6	0.8	3.0%	3.7	2.1	2.8	2.5	2.3
20～24歳	7.1	6.0	5.9	5.1	4.0	5.4	10.6	9.0	8.8	9.8	8.7	8.3
25～29歳	18.0	15.8	14.9	12.8	11.4	11.4	21.3	19.9	16.3	18.4	18.8	17.0
30～34歳	24.0	18.8	15.4	12.6	13.1	14.5	19.0	12.6	16.1	18.4	17.0	20.3
小計(18～34歳)	10.8	9.0	9.0	7.8	8.0	8.5	11.0	10.2	10.2	12.3	11.7	11.7
総数(18～49歳)	10.8	10.1	9.7	8.4	8.9	9.3	11.0	10.2	10.5	12.0	11.6	12.8
2 理想の相手ならしてもよい												
18～19歳	10.5	11.5	17.1	27.6	11.8	13.1	22.3	18.8	20.0	19.9	17.4	16.0
20～24歳	19.7	20.6	25.0	22.5	23.7	24.3	35.3	33.7	36.5	32.9	29.7	33.2
25～29歳	48.8	43.8	41.0	40.4	40.1	42.1	60.7	58.7	55.0	51.1	50.8	54.9
30～34歳	58.7	64.9	61.2	58.2	56.3	55.4	64.5	71.5	63.9	64.1	62.4	64.1
小計(18～34歳)	30.1	29.6	33.0	34.4	34.2	34.8	38.0	37.6	40.9	40.3	38.4	41.5
総数(18～49歳)	30.1	33.4	37.3	39.2	40.2	41.8	38.0	39.1	42.2	42.8	42.3	45.2
3 まだ結婚するつもりはない												
18～19歳	86.5	85.7	80.6	69.6	84.2	85.5	73.5	76.4	76.8	76.7	79.8	80.8
20～24歳	71.6	72.1	67.4	70.8	71.0	69.8	52.7	55.7	53.9	56.0	60.6	57.1
25～29歳	31.5	37.5	42.7	45.1	46.3	44.4	16.6	19.7	26.9	29.3	28.9	27.2
30～34歳	14.5	12.8	21.5	25.9	28.9	28.6	13.2	14.0	18.4	16.1	19.4	13.9
小計(18～34歳)	57.3	59.3	56.5	55.9	56.0	55.5	49.5	50.7	47.7	46.3	48.8	45.6
総数(18～49歳)	57.3	54.4	51.3	50.4	49.1	47.4	49.5	49.1	46.1	43.9	44.9	40.5
4 不詳												
18～19歳	1.8	1.6	0.8	1.6	2.4	0.5	1.2	1.0	1.1	0.6	0.4	0.8
20～24歳	1.6	1.3	1.7	1.6	1.3	0.5	1.3	1.6	0.8	1.3	1.0	1.4
25～29歳	1.8	2.9	1.5	1.8	2.1	2.1	1.4	1.7	1.8	1.2	1.6	0.9
30～34歳	2.9	3.5	1.9	3.2	1.8	1.4	3.3	1.9	1.6	1.4	1.2	1.7
小計(18～34歳)	1.9	2.0	1.5	1.9	1.8	1.2	1.4	1.5	1.2	1.2	1.1	1.2
総数(18～49歳)	1.9	2.2	1.7	2.1	1.8	1.5	1.4	1.7	1.2	1.4	1.1	1.4

注：対象は「いずれ結婚する」と答えた未婚者。

付表4 調査別にみた、結婚の利点・独身生活の利点

「結婚の利点」各項目を選択した未婚者の割合

調査(調査年次)		精神的安ら	子どもや家	愛情を感じ	社会的信用や	親や周囲の	生活上便利	経済的余裕	親から独立	性的な充足	その他
		ぎの場が得	族をもてる	ている人と	対等な関係が	期待に応え	になる	がもてる	できる	が得られる	
【 男 性 】	第9回調査 (1987年)	34.7%	19.9	17.5	21.9	18.2	8.8	3.3	3.5	3.0	0.2
	第10回調査 (1992年)	37.6	24.5	17.2	17.8	14.6	7.3	3.7	3.4	2.4	0.3
	第11回調査 (1997年)	37.5	23.8	18.0	14.6	12.4	6.1	4.2	4.0	2.0	0.3
	第12回調査 (2002年)	36.6	26.2	15.8	11.7	12.2	4.3	4.1	4.8	3.0	0.7
	第13回調査 (2005年)	35.9	33.4	17.0	12.3	12.6	4.6	4.4	4.5	1.3	0.3
	第14回調査 (2010年)	32.3	33.6	13.7	11.8	14.6	4.0	4.1	4.3	1.6	0.4
	総数(18～49歳)	32.0%	33.2	23.3	10.7	19.3	1.2	7.0	6.6	0.5	0.2
【 女 性 】	第9回調査 (1987年)	34.3	36.3	23.9	9.7	15.9	2.2	8.0	6.3	0.2	0.6
	第10回調査 (1992年)	34.7	34.6	23.6	7.3	13.6	1.9	11.2	6.2	0.5	0.6
	第11回調査 (1997年)	34.7	34.6	23.6	7.3	13.6	1.9	11.2	6.2	0.5	0.6
	第12回調査 (2002年)	33.8	37.3	20.6	6.2	13.9	2.4	11.6	6.6	0.4	0.5
	第13回調査 (2005年)	32.1	45.3	20.8	5.5	16.4	2.3	12.4	5.8	0.5	1.0
	第14回調査 (2010年)	29.7	47.7	17.6	6.1	19.1	2.2	15.1	6.3	0.3	0.6
	総数(18～49歳)	32.0%	33.2	23.3	10.7	19.3	1.2	7.0	6.6	0.5	0.2

「独身生活の利点」各項目を選択した未婚者の割合

調査(調査年次)		行動や生き	金銭的に	家族扶養の	広い友人関係	異性との交	住環境の選	現在の家族	職業をもち	その他
		方が自由	裕福	責任がなく	を保ちやすい	際が自由	択幅が広い	との関係が	社会との関	
【 男 性 】	第9回調査 (1987年)	65.0%	21.6	23.6	23.4	10.7	4.6	2.8	3.5	0.8
	第10回調査 (1992年)	66.1	24.8	23.9	24.1	12.2	4.6	2.0	2.6	0.5
	第11回調査 (1997年)	65.9	25.6	24.0	19.2	12.1	4.3	2.3	1.9	0.7
	第12回調査 (2002年)	63.4	23.9	24.2	19.8	8.1	4.8	3.0	2.6	0.9
	第13回調査 (2005年)	67.1	26.7	24.8	19.9	7.7	5.9	3.0	3.0	0.8
	第14回調査 (2010年)	65.1	28.1	23.8	18.9	6.5	5.2	3.9	2.1	0.8
	総数(18～49歳)	65.1%	28.1	23.8	18.9	6.5	5.2	3.9	2.1	0.8
【 女 性 】	第9回調査 (1987年)	68.8%	15.7	16.2	38.8	7.1	3.3	7.1	14.1	0.8
	第10回調査 (1992年)	66.9	19.6	16.8	36.9	7.5	3.7	8.4	11.8	0.5
	第11回調査 (1997年)	70.4	18.8	18.2	32.0	7.2	4.2	7.7	9.2	0.8
	第12回調査 (2002年)	68.3	19.5	19.2	30.0	5.4	4.1	8.3	9.9	0.7
	第13回調査 (2005年)	69.7	18.9	18.5	28.3	6.0	4.6	10.2	10.5	1.0
	第14回調査 (2010年)	71.4	18.1	19.2	27.7	5.8	4.6	10.2	10.0	0.6
	総数(18～49歳)	68.8%	15.7	16.2	38.8	7.1	3.3	7.1	14.1	0.8

注：対象は18歳～34歳未婚者。

付表5 調査・年齢別にみた、未婚者の異性との交際の状況

年 齢	婚約者がいる						恋人として交際している異性がいる						
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	
【男 性】	18～19歳	0.2%	0.1	0.2	0.3	0.5	0.0	13.8	16.0	15.1	15.3	16.1	15.9
	20～24歳	2.5	1.7	1.6	1.8	1.8	0.9	24.4	27.5	28.3	27.3	28.2	23.8
	25～29歳	5.7	7.4	5.6	4.4	4.9	3.3	19.9	25.3	23.2	25.6	27.2	26.7
	30～34歳	3.0	5.5	4.3	4.5	3.0	2.3	8.5	14.2	16.6	14.0	18.9	19.6
	総数(18～34歳)	2.9%	3.2	2.9	2.7	2.9	1.8	19.4	23.1	23.3	22.4	24.3	22.8
	参考(35～39歳)	-	1.6	2.8	1.5	2.4	1.1	0.0	6.3	10.5	10.8	12.4	10.9
【女 性】	18～19歳	1.1	0.7	0.3	0.3	0.6	0.2	18.7	25.3	21.6	27.4	26.2	26.0
	20～24歳	4.7	3.6	3.2	2.9	2.9	1.8	31.0	37.5	37.2	37.0	37.5	36.8
	25～29歳	9.5	8.4	7.4	7.4	9.8	6.4	24.9	29.1	30.9	34.2	32.4	30.9
	30～34歳	3.8	3.2	3.8	4.0	5.4	3.9	20.0	18.6	22.4	27.0	23.7	21.6
	総数(18～34歳)	4.6	3.9	3.8	3.9	4.8	3.1	26.2	31.6	31.6	33.1	31.9	30.9
	参考(35～39歳)	-	1.4	2.7	2.4	2.7	1.6	0.0	12.3	18.1	20.4	17.6	15.5

年 齢	友人として交際している異性がいる						交際している異性はいない						
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	
【男 性】	18～19歳	24.1	18.9	15.3	9.1	14.7	8.5	55.9	55.6	60.5	65.4	62.1	69.9
	20～24歳	25.8	20.7	14.8	13.0	13.5	9.3	42.1	43.8	46.9	48.8	50.6	61.9
	25～29歳	20.2	17.6	15.9	9.9	13.8	10.4	48.9	43.2	47.2	48.3	47.7	55.9
	30～34歳	21.4	17.4	15.7	12.4	14.8	8.9	60.6	54.9	52.2	55.3	55.5	63.4
	総数(18～34歳)	23.6	19.2	15.3	11.3	14.0	9.4	48.6	47.3	49.8	52.8	52.2	61.4
	参考(35～39歳)	0.0	20.4	15.3	9.0	13.1	12.4	0.0	58.8	64.1	63.5	65.3	67.2
【女 性】	18～19歳	29.1	19.7	16.5	13.0	12.8	9.1	47.1	47.6	55.3	47.5	56.4	59.8
	20～24歳	25.1	20.2	16.1	12.3	13.7	10.6	35.3	33.1	37.0	38.7	40.4	47.4
	25～29歳	22.6	18.0	14.5	12.0	12.2	14.1	38.7	37.3	39.1	35.8	39.4	43.8
	30～34歳	21.9	17.8	17.2	12.9	12.4	14.1	45.6	53.8	50.9	45.1	51.2	53.4
	総数(18～34歳)	25.4	19.5	15.9	12.4	12.9	11.9	39.5	38.9	41.9	40.3	44.7	49.5
	参考(35～39歳)	0.0	21.0	14.1	9.5	12.5	7.7	0.0	56.5	57.0	51.2	55.3	68.1

注：対象は18歳～34歳未婚者。交際状況不詳は構成に含むが掲載は省略。

付表6 調査別にみた、女性の理想・予定のライフコースおよび男性が女性に望むライフコース

調査（調査年次）		総数	専業主婦	再就職	両立	DINKS	非婚就業	その他・不詳
女性 の 理 想	第9回調査(1987年)	100.0%	33.6%	31.1	18.5	2.5	3.7	10.7
	第10回調査(1992年)	100.0	32.5	29.7	19.3	4.1	3.3	11.1
	第11回調査(1997年)	100.0	20.6	34.3	27.2	4.4	4.4	9.2
	第12回調査(2002年)	100.0	18.5	36.7	27.3	4.0	5.3	8.2
	第13回調査(2005年)	100.0	18.9	33.3	30.2	4.1	5.1	8.4
	第14回調査(2010年)	100.0	19.7	35.2	30.6	3.3	4.9	6.3
女性 の 予 定	第9回調査(1987年)	100.0	23.9	42.2	15.3	1.4	7.1	10.1
	第10回調査(1992年)	100.0	19.2	45.8	14.7	2.6	9.5	8.2
	第11回調査(1997年)	100.0	17.7	42.9	15.5	3.0	9.3	11.6
	第12回調査(2002年)	100.0	13.6	41.8	17.5	4.0	12.5	10.6
	第13回調査(2005年)	100.0	11.7	37.1	20.8	3.2	15.6	11.7
	第14回調査(2010年)	100.0	9.1	36.1	24.7	2.9	17.7	9.5
男性 の 期 待	第9回調査(1987年)	100.0	37.9	38.3	10.5	0.7	0.8	11.9
	第10回調査(1992年)	100.0	30.4	44.2	10.8	0.9	0.6	13.0
	第11回調査(1997年)	100.0	20.7	43.4	17.0	1.5	1.0	16.4
	第12回調査(2002年)	100.0	18.1	46.8	18.7	1.4	1.6	13.4
	第13回調査(2005年)	100.0	12.5	38.7	28.2	2.8	3.0	14.7
	第14回調査(2010年)	100.0	10.9	39.1	32.7	2.6	3.7	11.0

注：対象は18歳～34歳未婚者。

付表7 調査別にみた、希望子ども数別子どもの性別組合せ

【男 性】		第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
希望子ども数	希望男女児組合せ							
1人	男児1人・女児0人	80.0%	69.8	58.2	42.0	47.1	51.0	53.2
	男児0人・女児1人	20.0	30.2	41.8	58.0	52.9	49.0	46.8
2人	男児2人・女児0人	7.9	5.7	6.7	5.1	4.2	4.6	4.6
	男児1人・女児1人	91.0	92.9	91.2	91.9	92.8	92.7	93.8
	男児0人・女児2人	1.1	1.4	2.0	2.9	3.0	2.7	1.6
3人	男児3人・女児0人	2.4	2.9	3.1	4.0	1.9	2.3	2.5
	男児2人・女児1人	80.2	77.9	72.4	69.3	64.9	61.1	63.2
	男児1人・女児2人	16.8	18.6	23.2	25.5	31.2	35.5	33.1
	男児0人・女児3人	0.7	0.6	1.3	1.2	1.9	1.1	1.2
希望子ども数性比 $100 \times \frac{\text{希望男児数}}{\text{希望女児数}}$		132	127	121	114	108	110	111

【女 性】		第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)
希望子ども数	希望男女児組合せ							
1人	男児1人・女児0人	59.6%	51.8	40.5	38.5	30.4	39.1	27.2
	男児0人・女児1人	40.4	48.2	59.5	61.5	69.6	60.9	72.8
2人	男児2人・女児0人	1.3	2.9	3.9	1.9	1.4	1.5	1.2
	男児1人・女児1人	94.0	91.4	90.6	89.8	90.5	91.2	91.2
	男児0人・女児2人	4.6	5.8	5.6	8.3	8.1	7.3	7.6
3人	男児3人・女児0人	0.9	0.8	0.7	1.7	2.5	0.9	1.3
	男児2人・女児1人	67.0	61.9	62.2	50.7	46.8	47.5	41.1
	男児1人・女児2人	32.0	36.6	35.3	46.6	50.0	49.8	55.1
	男児0人・女児3人	0.2	0.8	1.8	1.0	0.7	1.8	2.5
希望子ども数性比 $100 \times \frac{\text{希望男児数}}{\text{希望女児数}}$		108	104	103	93	90	92	88

注：対象は「いずれ結婚するつもり」で希望子ども数が1人以上かつ男女児組合せに希望があったとした18～34歳未婚者。希望子ども数4人以上の組合せについては掲載を省略。希望子ども数性比は、希望の男女児組合せにおける総男女児数の構成の性比(希望女児数100に対する希望男児数)であり、女児選好が強いほど値が小さくなる。第14回調査の表側項目別客体数は、希望子ども数1人(男性94人、女性103人)、2人(男性1,419人、女性1,439人)、3人(男性405人、女性474人)。

付表8 調査・年齢別にみた、未婚者の従業上の地位の構成

年齢 調査(調査年次)	総数(客体数)	【男 性】							【女 性】								
		正規の職員	派遣社員・嘱託・契約	アルバイト	家族従業員・自営業者	無職・家事	学生	不詳	正規の職員	派遣社員・嘱託・契約	アルバイト	家族従業員・自営業者	無職・家事	学生	不詳		
18～19歳																	
第8回(1982年)	100.0% (494)	38.5%	-	2.2	3.4	3.0	52.2	0.6	100.0% (466)	48.3%	-	1.1	1.3	3.4	45.1	0.9	
第9回(1987年)	100.0 (601)	32.3	-	2.0	3.5	3.0	56.7	2.5	100.0 (643)	40.4	-	2.5	0.5	3.9	51.2	1.6	
第10回(1992年)	100.0 (845)	25.6	-	1.9	0.7	3.2	66.2	2.5	100.0 (878)	34.1	-	2.1	0.3	2.7	58.8	2.1	
第11回(1997年)	100.0 (621)	22.7	-	9.0	1.0	4.2	57.8	5.3	100.0 (606)	16.5	-	8.9	0.0	2.5	68.5	3.6	
第12回(2002年)	100.0 (706)	12.2	0.4	8.9	1.4	5.7	64.9	6.5	100.0 (591)	10.8	0.5	11.3	1.2	5.2	61.9	9.0	
第13回(2005年)	100.0 (422)	16.4	1.7	7.1	0.9	4.0	67.8	2.1	100.0 (541)	10.5	0.6	9.6	0.9	3.7	73.4	1.3	
第14回(2010年)	100.0 (435)	16.3	0.2	3.7	0.9	5.1	69.2	4.6	100.0 (530)	10.4	1.9	6.2	0.8	2.5	74.7	3.6	
20～24歳																	
第8回(1982年)	100.0 (1,138)	59.9	-	2.6	5.9	3.4	27.3	0.8	100.0 (1,106)	72.8	-	3.6	2.4	9.0	11.3	0.9	
第9回(1987年)	100.0 (1,464)	60.5	-	2.0	5.9	2.0	28.5	1.2	100.0 (1,337)	74.3	-	3.6	1.6	6.2	13.4	0.8	
第10回(1992年)	100.0 (1,840)	57.8	-	2.7	2.3	1.6	34.5	1.1	100.0 (1,783)	74.3	-	4.2	1.0	4.3	15.5	0.7	
第11回(1997年)	100.0 (1,683)	51.9	-	10.0	4.4	2.8	26.7	4.2	100.0 (1,754)	58.3	-	15.0	1.3	5.0	17.5	2.9	
第12回(2002年)	100.0 (1,405)	40.6	2.1	12.5	3.7	6.4	29.0	5.6	100.0 (1,394)	43.5	4.2	19.1	1.8	6.5	19.3	5.7	
第13回(2005年)	100.0 (1,025)	37.2	7.1	14.8	3.0	4.8	30.5	2.5	100.0 (1,187)	39.5	9.9	14.0	1.0	6.1	26.6	2.9	
第14回(2010年)	100.0 (1,359)	38.6	3.4	8.9	2.0	7.4	35.4	4.3	100.0 (1,371)	41.5	6.9	15.5	0.5	6.5	25.8	3.3	
25～29歳																	
第8回(1982年)	100.0 (730)	80.3	-	1.8	12.1	3.0	1.5	1.4	100.0 (373)	72.7	-	5.9	3.2	15.0	0.3	2.9	
第9回(1987年)	100.0 (836)	83.4	-	2.3	7.9	2.6	2.3	1.6	100.0 (465)	75.3	-	6.0	5.6	11.2	1.1	0.9	
第10回(1992年)	100.0 (1,036)	87.6	-	1.2	5.9	2.9	1.4	1.1	100.0 (739)	82.3	-	6.4	1.5	8.4	0.3	1.2	
第11回(1997年)	100.0 (1,149)	77.0	-	5.7	7.6	3.5	2.3	4.0	100.0 (908)	69.4	-	15.2	3.9	7.5	1.5	2.5	
第12回(2002年)	100.0 (1,124)	63.6	2.1	10.7	7.7	7.3	2.8	5.7	100.0 (1,012)	59.5	6.1	16.3	3.2	10.4	1.6	3.0	
第13回(2005年)	100.0 (1,025)	61.9	7.2	10.2	6.5	8.0	3.5	2.6	100.0 (834)	56.0	14.3	14.6	2.0	7.7	3.1	2.3	
第14回(2010年)	100.0 (1,076)	59.3	8.4	10.8	5.9	9.1	2.5	4.0	100.0 (895)	54.1	9.6	18.0	2.1	10.1	0.9	5.3	

次ページに続く

付表8 調査・年齢別にみた、未婚者の従業上の地位の構成（つづき）

年齢 調査(調査年次)	【男 性】								【女 性】							
	総数(客体数)	正規の 職員	約 社員 派遣 ・ 嘱 託 ・ 契	ア ル バ ト ・ パ イ ト	家 族 従 業 主 者 ・ 自 営 業 者	無 職 ・ 家 事	学 生	不 詳	総数(客体数)	正規の 職員	約 社員 派遣 ・ 嘱 託 ・ 契	ア ル バ ト ・ パ イ ト	家 族 従 業 主 者 ・ 自 営 業 者	無 職 ・ 家 事	学 生	不 詳
30～34歳																
第8回(1982年)	100.0 (370)	76.2	-	3.0	15.9	3.0	0.0	1.9	100.0 (165)	61.2	-	6.7	8.5	19.4	0.6	3.6
第9回(1987年)	100.0 (398)	73.4	-	2.0	17.6	4.8	0.8	1.5	100.0 (160)	65.0	-	5.6	9.4	15.6	0.0	4.4
第10回(1992年)	100.0 (494)	84.0	-	2.0	8.9	2.4	0.6	2.0	100.0 (247)	72.9	-	9.7	3.6	12.1	0.0	1.6
第11回(1997年)	100.0 (529)	75.0	-	3.6	12.1	3.2	0.8	5.3	100.0 (344)	61.3	-	16.3	7.6	10.2	0.6	4.1
第12回(2002年)	100.0 (662)	58.9	2.4	9.8	10.0	9.4	1.4	8.2	100.0 (497)	56.7	9.1	14.3	4.4	11.7	0.4	3.4
第13回(2005年)	100.0 (667)	63.0	6.6	6.4	11.2	7.9	1.0	3.7	100.0 (502)	51.4	17.1	14.7	3.0	10.4	1.2	2.2
第14回(2010年)	100.0 (797)	55.6	8.2	9.2	8.7	11.2	0.9	6.4	100.0 (610)	49.3	13.9	15.6	5.2	11.0	0.8	4.1
総数(18～34歳)																
第8回(1982年)	100.0 (2,732)	63.7	-	2.4	8.5	3.2	21.2	1.1	100.0 (2,110)	66.4	-	3.7	2.7	9.7	16.0	1.5
第9回(1987年)	100.0 (3,299)	62.7	-	2.1	7.4	2.7	23.6	1.5	100.0 (2,605)	65.6	-	3.9	2.5	7.1	19.7	1.2
第10回(1992年)	100.0 (4,215)	61.7	-	2.1	3.7	2.3	28.7	1.5	100.0 (3,647)	66.1	-	4.5	1.1	5.3	21.8	1.2
第11回(1997年)	100.0 (3,982)	57.7	-	7.7	5.8	3.3	21.0	4.5	100.0 (3,612)	54.4	-	14.1	2.3	5.7	20.4	3.0
第12回(2002年)	100.0 (3,897)	45.2	1.9	10.9	5.5	7.0	23.3	6.2	100.0 (3,494)	44.5	4.8	16.3	2.5	8.1	18.7	5.1
第13回(2005年)	100.0 (3,139)	47.9	6.3	10.5	5.6	6.4	20.5	2.8	100.0 (3,064)	40.8	10.6	13.5	1.6	6.8	24.3	2.3
第14回(2010年)	100.0 (3,667)	45.7	5.5	8.9	4.5	8.5	22.3	4.7	100.0 (3,406)	41.4	8.1	14.7	1.8	7.6	22.4	4.0
(参考) 35～39歳																
第8回(1982年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第9回(1987年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第10回(1992年)	100.0 (318)	81.8	0.0	2.8	10.4	3.1	0.3	1.6	100.0 (138)	74.6	0.0	5.1	5.1	11.6	0.0	3.6
第11回(1997年)	100.0 (287)	71.4	0.0	6.6	12.2	4.2	0.0	5.6	100.0 (149)	63.1	0.0	13.4	9.4	10.7	0.0	3.4
第12回(2002年)	100.0 (323)	63.2	2.2	3.4	10.8	10.5	0.0	9.9	100.0 (211)	50.7	7.1	10.9	9.5	12.3	1.4	8.1
第13回(2005年)	100.0 (412)	62.1	4.9	7.5	12.4	9.2	0.0	3.9	100.0 (255)	47.8	16.1	14.5	7.1	9.0	0.8	4.7
第14回(2010年)	100.0 (613)	54.0	7.5	9.6	9.1	12.9	0.3	6.5	100.0 (427)	46.1	15.9	15.7	5.6	12.2	0.7	3.7

注：対象は18歳～34歳未婚者。派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加、契約社員は第13回調査以降で追加された。

付表9 未婚者のライフスタイルの実態：第14回調査（2010年）

ライフスタイル項目	【男 性】							【女 性】								
	総 数	あ て は ま る	あ て は ま る	ど ち ら か と い え ば	あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い	ど ち ら か と い え ば	不 詳	総 数	あ て は ま る	あ て は ま る	ど ち ら か と い え ば	あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い	ど ち ら か と い え ば	不 詳
①仕事以外で、国内旅行や海外旅行によく出かける	100.0%	19.3%	5.7	13.5	77.6	59.0	18.6	3.1	100.0%	33.9%	13.1	20.8	63.6	43.7	19.8	2.6
②衣服や持ちものには、こだわりが強い方だ	100.0	46.9	17.3	29.6	50.1	22.2	28.0	3.0	100.0	62.9	24.6	38.4	34.6	9.2	25.4	2.4
③欲しいものを買ったり、好きなことに使えるお金が少ない	100.0	51.0	20.7	30.3	45.7	13.4	32.3	3.2	100.0	47.4	18.5	28.9	50.0	13.2	36.8	2.6
④気軽に一緒に遊べる友人が多い	100.0	56.2	22.1	34.1	40.6	12.2	28.5	3.2	100.0	58.7	23.0	35.7	38.8	9.4	29.4	2.6
⑤生きがいとなるような趣味やライフワークを持っている	100.0	60.8	26.8	34.1	35.9	10.1	25.7	3.3	100.0	56.3	23.7	32.6	41.1	11.8	29.4	2.6
⑥一人の生活を続けても寂しくないと思う	100.0	41.5	13.7	27.8	55.1	20.8	34.2	3.5	100.0	28.7	8.6	20.1	68.5	34.5	34.0	2.8
⑦仕事のために私生活を犠牲にすることがよくある	100.0	52.1	17.9	34.1	42.3	12.5	29.8	5.6	100.0	45.3	16.4	28.9	49.2	16.3	32.9	5.5

注：対象は18～34歳未婚者。集計客体数：男性3,667、女性3,406。

設問「あなたの生活スタイルについておたずねします。下の①から⑦のそれぞれの生活スタイルがあなたご自身にあてはまるかどうかについて、右の欄の適切な番号に○をつけてください。」(⑦は、職業を持つ人のみ回答)。

付表 10 調査別にみた、結婚・家族に関する意識

結婚・家族に関する考え方	調査(調査年次)	【男 性】			【女 性】			(参考) 【妻(夫婦調査)】		
		賛成	反対	不詳	賛成	反対	不詳	賛成	反対	不詳
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	第10回(1992年)	65.3%	29.1	5.6	57.6%	38.4	4.0	61.5%	36.7	1.9
	第11回(1997年)	57.7	36.0	6.2	49.1	45.7	5.2	51.0	46.3	2.8
	第12回(2002年)	60.9	31.0	8.1	53.0	40.2	6.8	45.6	51.7	2.6
	第13回(2005年)	64.0	30.3	5.7	56.0	39.7	4.3	52.4	41.5	6.1
	第14回(2010年)	64.0	31.9	4.0	57.1	39.4	3.4	57.9	38.7	3.4
② 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	第10回(1992年)	78.5	16.5	5.0	72.6	23.5	3.9	78.0	20.9	1.2
	第11回(1997年)	69.0	24.9	6.0	59.3	35.9	4.8	69.9	27.8	2.3
	第12回(2002年)	71.6	21.0	7.4	60.3	33.6	6.1	62.4	35.4	2.2
	第13回(2005年)	73.9	20.5	5.6	62.9	32.7	4.4	63.5	31.2	5.3
	第14回(2010年)	73.5	22.8	3.7	67.4	29.4	3.1	68.5	28.5	3.0
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉を持ってかまわない	第10回(1992年)	77.5	17.0	5.5	72.6	23.4	4.0	80.9	17.7	1.4
	第11回(1997年)	81.8	11.7	6.6	81.3	13.2	5.5	87.4	10.1	2.5
	第12回(2002年)	81.1	10.9	8.0	82.2	11.1	6.7	89.8	8.3	1.9
	第13回(2005年)	83.7	10.3	6.1	82.1	13.2	4.7	86.8	7.7	5.5
	第14回(2010年)	84.0	11.9	4.1	83.2	13.0	3.8	89.2	7.7	3.1
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	第13回(2005年)	85.6	8.9	5.5	84.4	11.5	4.1	85.6	9.1	5.3
	第14回(2010年)	86.1	10.4	3.5	85.0	11.8	3.2	88.2	9.1	2.7
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標をもつべきである	第10回(1992年)	76.4	18.2	5.4	78.3	17.6	4.1	78.2	20.5	1.3
	第11回(1997年)	76.5	16.7	6.8	80.3	14.2	5.5	82.1	15.4	2.5
	第12回(2002年)	77.3	14.7	8.1	81.3	12.1	6.7	82.9	15.0	2.0
	第13回(2005年)	80.2	13.7	6.1	84.9	10.6	4.5	81.6	12.5	5.9
	第14回(2010年)	81.2	14.9	3.9	84.2	11.9	3.8	84.9	12.2	2.9
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半犠牲にするのは当然だ	第10回(1992年)	44.7	49.4	5.9	36.4	58.9	4.7	46.0	52.6	1.4
	第11回(1997年)	45.9	47.7	6.4	32.6	62.3	5.1	34.7	63.0	2.3
	第12回(2002年)	51.8	40.4	7.9	35.4	58.1	6.5	41.8	56.5	1.7
	第13回(2005年)	56.7	37.5	5.8	40.1	55.4	4.5	44.2	50.1	5.7
	第14回(2010年)	58.2	38.0	3.7	45.4	51.2	3.4	52.4	44.8	2.9
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	第10回(1992年)	61.7	32.5	5.8	49.7	45.8	4.5	39.1	59.5	1.4
	第11回(1997年)	45.8	47.8	6.4	31.5	63.5	5.0	32.9	65.0	2.1
	第12回(2002年)	40.3	51.8	7.9	28.9	64.7	6.3	29.4	68.7	2.0
	第13回(2005年)	36.2	58.1	5.6	28.7	66.9	4.4	30.0	64.2	5.7
	第14回(2010年)	36.0	60.1	4.0	31.9	64.7	3.4	30.9	66.2	3.0
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	第10回(1992年)	87.5	6.8	5.7	85.4	9.9	4.7	86.9	11.5	1.6
	第11回(1997年)	77.9	15.3	6.8	71.5	23.3	5.2	76.7	20.5	2.8
	第12回(2002年)	76.2	15.6	8.3	68.8	24.4	6.8	70.8	27.0	2.2
	第13回(2005年)	78.9	15.0	6.0	68.9	26.2	4.9	69.1	24.9	6.1
	第14回(2010年)	77.3	18.7	4.1	70.1	26.3	3.6	67.8	28.6	3.5
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	第10回(1992年)	87.5	7.0	5.5	87.4	8.2	4.4	86.1	12.7	1.2
	第11回(1997年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第12回(2002年)	76.4	15.8	7.9	77.1	16.7	6.2	74.3	24.0	1.7
	第13回(2005年)	75.9	18.6	5.5	77.8	18.2	4.0	70.1	24.6	5.3
	第14回(2010年)	73.3	22.9	3.7	75.4	21.5	3.2	66.2	30.7	3.1
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	第10回(1992年)	67.7	26.4	5.9	57.4	37.8	4.8	60.9	37.2	1.9
	第11回(1997年)	62.0	31.4	6.7	47.3	47.3	5.3	50.0	47.4	2.6
	第12回(2002年)	66.4	25.7	7.9	52.8	40.4	6.8	50.9	46.7	2.4
	第13回(2005年)	69.0	25.3	5.6	58.3	37.1	4.5	54.1	39.7	6.2
	第14回(2010年)	72.3	23.8	3.9	62.2	34.1	3.7	58.2	38.5	3.3
⑪ 結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	第14回(2010年)	31.6	64.7	3.7	33.7	62.9	3.4	39.1	57.9	2.9

注：18歳～34歳未婚者。集計客体数：第10回男性4,215、女性3,647、第11回男性3,982、女性3,612、第12回男性3,897、女性3,494、第13回男性3,139、女性3,064、第14回男性3,667、女性3,406。「賛成」は「まったく賛成」「どちらかといえば賛成」を合計した回答割合。「反対」についても同様。参考にした本調査・夫婦調査による妻の数値は、初婚どうしの夫婦の35歳未満の妻を対象とする。